地方史情報 159

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道	1	新潟県	28	岡山県	46
秋田県	2	長野県	31	広島県	47
山形県	3	静岡県	35	山口県	48
福島県	4	愛 知 県	36	愛 媛 県	49
茨 城 県	6	三重県	<i>37</i>	福 岡 県	50
栃木県	6	滋 賀 県	38	佐 賀 県	51
群馬県	8	京都府	38	長 崎 県	51
埼 玉 県	9	大 阪 府	41	宮崎県	52
千葉県	10	兵庫県	44	沖縄県	52
東京都	13	和歌山県	45	寄贈図書	53
神奈川県	23	島根県	46		

北海道

◆屯田 北海道屯田倶楽部

〒063-0037札幌市西区西野七条9-7-5 151011-676-6145

年3000円 1985年創刊 https://tonden.org/

◇72 2022.11 B5 80p 1000円

表紙絵図 屯田兵服役願(明治31年8月24日、剣淵町資料館所蔵)

巻頭言 屯田兵制度創設150周年に向けて

梶田 博昭

子思孫尊 開拓期を生き抜いた父祖の足跡

武藤 繭美

屯田兵は何を食べていたか-屯田兵の扶助料と食生活

有馬 尚経

一節抜粋 相川清著『魂のルーツ』 世代を超えて見えない糸をたぐ り寄せると(K)、高津俊司著『北海道の鉄道開拓者』 鉄道技術者 の情熱と献身がにじむ(E)

歴史探訪 札幌のまちづくりを構想した島義勇の生誕地を訪ねて 武石 詔吾

屯田兵のデザイン考 篠路屯田兵の墓碑(石狩市・屯田墓地)

義顕の士、辞世に込めた思いは…

古地図の散歩道 「屯田兵第一大隊旧第二中隊給与地及公有財産地」 (北海道立文書館所蔵)、「札幌区字山鼻町連絡図」(山鼻屯田記念館 資料室所蔵)

札幌区字山鼻町連絡図 そっくり地図に「幻の射的場」

宮内 隆一

新琴似中隊本部銃撃事件についての疑問

江口 憲人

北海道における神道・神社の歴史と開拓(上)

北国 諒星

三澤日記6分冊翻刻事業スタート

給与猫、蝦夷錦の正体は

(K)

◆文化情報 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目 かでる2·7ビル9階 TEL011-271-4220 http://hokkaido-bunkazai.jp

♦391 2022.11 A4 8p

浦幌町指定有形文化財 厚内神社絵馬

持田 誠

道文化財保護功労者 保護・啓発・伝承 1個人2団体

田村邦雄氏(江別市)/噴火湾考古学研究会(伊達市)/幌内神楽保存会(厚真町)

子どもの文化財愛護活動推進事業 稚内南小学校で出前授業 伊達市文化財めぐり 北黄金貝塚・善光寺など 歴史文化を訪ねる

「文化の礎」―漆刷毛

玉井日出夫

シリーズ伝える

地域に語り継がれるニール・ゴードン・マンローの遺徳 廣岡 絵美まちのイチオシ 白糠の歌人・郷土史家 小助川濱雄が遺したもの 竹ヶ原浩司文化財 NOW 5 「水中遺跡」調査の先駆け 開陽丸 石垣 秀人 博物館ひろば 二本の柱、企画展示と学習サービス

『地域の研究室』七飯町歴史館

山田 央

新指定 北海道文化財(天然記念物) 足寄動物群束柱類化石 2 標本 (足寄町)/親子化石発掘体験ツアー 雨の中の発掘と博物館の化石 に感動

秋田県

◆秋田民俗通信 秋田県民俗学会

〒010-0951秋田市川尻大川町2-8 秋田文化出版内 Tel.018-864-3322

年4000円 1974年創刊 **◇136** 2022.8 B5 6p 牛頭栴檀の話(後)

石郷岡千鶴子

◆北方風土 北方風土社

〒019-2112大仙市刈和野字愛宕167 新谷正隆方 1980年創刊

♦81 2022.10 A5 138p

「鎌倉殿の十三人」、中原親能小考一当地大仙市神宮寺に痕跡を遺す 神宮 滋 『後三年合戦絵詞』の錯簡は承安本まで遡るか?

 一『康富記』から読み解く
 加藤愼一郎

 菅江真澄コネクション
 稲 雄次

 念仏剣舞、仙台領での発祥
 小田島清朗

人首と鬼首と古代の田圃一人首・ヒトカベ・人頭・人こうべ

 一鬼頭・鬼壁・一首
 松橋 由雄

 地名「うずい」と「うづい」一青森県と中国地方
 松橋 由雄

 承応二年の新参者 駿府藩・細井金大夫光信の系譜(後編)
 太田 豊

書 評

神宮滋『大物忌神と鳥海山信仰』飯田 隆夫自著『大物忌神と鳥海山信仰』を語る神宮 滋訂正・追記 佳姫様のこと原 千秋

山形県

◆山形民俗 山形県民俗研究協議会

〒990-0055山形市相生町2-10 岩鼻通明方 ™L023-623-5687 1987年創刊 ◇36 2022.11 B5 100p 700円

イザベラ・バードが山形県置賜郡手ノ子で目撃し詳描した流灌頂

一旅と旅行記を科学する2 金坂 清則

コロナ禍における民俗文化継承活動

一最上郡「鮭川歌舞伎」の事例を中心に 菊地 和博 天宥と羽黒山開山像一「開山御尊像逆般若心経」に関する一考察 伊藤 瑞恵

廻国六部と四国八十八所写し霊場 市村 幸夫

山形県最上地方のアイヌ語地名 清野 春樹 泉沢の代ごりの小屋 渡辺 幸任

東根八代城主里見薩摩守景佐の連歌号

一号は「光景」(あきかげ) 最上義光連歌衆の一人 野口 孝雄

山形の祭礼と博奕をめぐって 村山 正市 昭和初期の飛島における漁業と檀家・貰い子をめぐって 岩鼻 通明 県内の主な民俗関係出版物(2021年9月~2022年8月)

◆米沢史学 米沢史学会

〒992-0025米沢市通町6-15-1 山形県立米沢女子短期大学日本史学科内 TEL0238-22-7330

◇38 2022.10 A4 132p

和歌の歴史―転轍機としての『新古今和歌集』 地方の茶文化―中世出羽の遊興と供養

石黒 志保山口 博之

史料紹介

翻刻 市立米沢図書館所蔵「霊前勧進詩歌」 笹野観音堂史料に関する研究(3)

石黒 志保

笹野観音堂史料研究会

『看聞日記』現代語訳(25)

蘭部 寿樹

2021年度卒業研究要旨

福島県

◆フークトーブ通信 フークトーブ通信社

〒960-8021福島市霞町9-38 シュタースティエ102室 山田英明方 2015年創刊

♦52 2022.12 A4 2p

小滝清次郎民俗写真展について

長島 雄一

赤井 武史

◆福島県史料情報 福島県文化振興事業団

フークトーブ紀行(52) からむし(昭和村)

〒960-8018福島市松木町13-16 121024-534-9193 2002年創刊

https://www.fcp.or.jp/history/

♦64 2022.10 A4 4p

星縫殿右衛門の一代記と大気光学現象 享保15年正月付「一代記并萬 覚書」(桧枝岐村文書291)に描かれた、享保4年の内暈・幻日・幻

日環などの図 小野孝太郎

相撲年寄木村豊七の手紙 山田 英明

二賀保家にまつわる疫病神の詫び証文と宿札 小野孝太郎

『豊国産物往来』と明治期ふくしまの物産 渡邉 智裕

天覧に供された武藤茂平の文化財 渡邉 智裕

◆ふくしまの歴史と文化財 文字摺通信

〒960-8204福島市岡部字東町35-6 守谷早苗

◇27 2022.11 A4 4p

行政の無形文化財支援のモデルケース

喜多方市熱塩加納大平地区"風神様"の行事が行われました

- 福島市山口地蔵院境内で5軀目の阿保原地蔵尊を見つけました!/地蔵院でもう一つ「福天(?)|碑を見つけました
- 3月の地震の被害 梁川天神社蠣崎波響献納石灯籠の倒壊
- 第18号で紹介した「青い目の人形」が展示公開されます

もちずり地区文化祭11月5日(土)・6日(日)の両日

一誠の記憶(第一小学校所蔵写真から)

第一小学校正門付近の光景「11月11日非常時日本」(昭和8年)

◇28 2022.11 A4 4p

- 福島でまた見初めてしまった恋多き画家 夢二と、アルト歌手を目指 す福島呉服店の令嬢 晴子嬢と、恋のキューピットになれなかった 「福島夜曲」作曲の 裕而と
- 一誠の記憶(第一小学校所蔵写真から) 大正7年の福島第一尋常高等 小学校授業風景(福島第一尋常高等小学校大正7年度卒業アルバム)
- ◇号外1 2022.11 A4 2p

緊急号外 岩谷観音の剥落が修理されました… が…

う~ん?と唸りたくなる修復で…

◇29 2022.12 A4 4p

福島市に於ける女子職業の実際的調査 新しい職種?麻雀ガール 地名について 逢隈小学校の読みは?

- **♦30** 2022.12 A4 4p
- 11月14日(月) もちずり地区歴史研究会定例会 ちょっと贅沢な移動 教室に出かけてきました 大波水雲神社:人面木鼻〜泉原養蚕用具 整理室:贅沢な観覧〜菅野八郎自刻の碑:思いを寄せて

またまた「磐城」のこと

◆安蔵つうしん 「鈴木安蔵を讃える会」ニュース

〒979-8204相馬市坪田字八幡21 志賀勝明方 TeL0244-26-4645

♦4 2022.11 A4 2p

鈴木家住宅に「説明看板 | が設置されました

明治39年、鈴木良雄の遺族を見舞った河東碧梧桐

♦ 5 2022.11 A4 2p

金子勝先生の新刊紹介『日本国憲法と鈴木安蔵 日本国憲法の間接的 起草者の肖像

- 三姉妹が語る家庭での鈴木安蔵先生 『鈴木安蔵先生生誕百年記念シ ンポジウムの記録 鈴木安蔵先生から受け継ぐもの』より 長女・ 鹿島理智子さん 母の内助の功で/次女・川井耿子さん 文学を愛 した父/三女・高木露子さん 学問一筋の父
- **♦**6 2022.12 A4 2p

日野・市民自治研究所「福島被災地と鈴木安蔵の生まれた小高を訪ね る旅 | 11月19日・20日、30名

鈴木家住宅訪問の会員さんより

有意義だった小高区の見学会

齋藤 淑人

鈴木安蔵のことを多くの人々に知ってほしい

志賀 勝明

♦ 7 2022.12 A4 2p

会員さんより

郷土の誇り 鈴木安蔵

渡部 幸一

鈴木安蔵は不可欠の存在

『日本の青空』を授業の教材に/鈴木安蔵を国民の常識に 豊永 敏久

茨城県

◆飛耳長目 長久保赤水顕彰会会報

〒318-0103高萩市大能341 佐川春久方 年3000円

http://nagakubosekisui.org

◇33 2022.12 A4 4p

長久保赤水顕彰会創立30周年記念式典/長久保赤水顕彰会創立30周年 記念功労者表彰、『道知るべ 續長久保赤水の一生』感想文表彰 『江戸時代巨星 長久保赤水』を発行(B5、83頁、1000円+税)/国 の重要文化財指定記念誌『長久保赤水資料群』を発行(A4、198頁、 1000円+税)

栃 木 県

◆小山市立博物館だより

〒329-0214小山市乙女1-31-7 1至0285-45-5331 1984年創刊

https://www.city.oyama.tochigi.jp/site/hakubutu/

♦ 74 2022.3 A4 4p

第76回企画展「小山の遺跡 速報展」

こんなこともやっています! 学校との連携事業 地域の歴史を体験

する一日~旧石器から戦国時代まで

収蔵資料紹介 世界最大級の蝶「ゴライアストリバネアゲハ」

コラム 博物館職員雑記 私の岡山イヤー!?

山田 淳子

小山市少年少女発明クラブ 発明のおはなし(8)

物事をいろいろな側面から見よう

◆歴史と文化 栃木県歴史文化研究会

〒320-0865宇都宮市睦町2-2 栃木県立博物館内 Tell028-634-1313 年4000円 1992年創刊

◇31 2022.7 A4 108p 2000円

巻頭言 スターティング・オーバー 江田 郁夫

追悼 阿部昭先生

阿部昭さんを偲んで「下野の城」 鹿沼城跡 柏村 祐司

阿部昭先生との出会いと想い出 大嶽 浩良 阿部昭先生のご逝去を憶む 千田 孝明

阿部昭先生の研究と学問 平野 哲也

大会関連論考

飛鳥・奈良時代の律令国家と下野 佐藤 信 平安時代の下野国―道忠から藤原秀郷へ 川尻 秋生

特集「栃木の美術と交流」

特集「栃木の美術と交流」にあたって 会誌編集委員会

木村姓時代の小泉斐と水戸藩士たちの交遊 高久靄厓と吉澤松堂―人見伝蔵の靄厓研究をたどりながら 末武さとみ

小杉放蕃の文芸ネットワーク 迫内 祐司

長谷川勝三郎の作品と河上澄生との交流 原田 敏行

塩谷佐貫の磨崖仏一補陀落山渡海 北口 英雄

書評 荒川善夫『戦国・近世初期の下野世界』 稲川 裕己

活動記録 栃木県歴史文化研究会活動の記録(令和3年7月~令和4年6

月の研究発表・活動の記録)

各種情報欄 文献情報(図書一覧·研究論文一覧)/令和三年度栃木県

県内発掘調査情報/令和三年度新規指定文化財一覧

◆歴文だより 栃木県歴史文化研究会会報

〒320-0865宇都宮市睦町2-2 栃木県立博物館内 Tm:028-634-1313

年4000円 1991年創刊

♦ 125 2022.11 A4 4p

《特集 ふるさと栃木再発見》

第三一回大会「ふるさと栃木再発見」

篠崎 茂雄

デジタルコンテンツ紹介

(1) 宇都宮市「宇都宮城映像コンテンツ |

星野 治彦

(2) 高根沢町デジタルミュージアム

阿久津律子

(3) 鹿沼デジタルアーカイブ

堀野 周平

群馬県

◆ぐんま地域文化 群馬地域文化振興会

〒371-0801前橋市文京町3-27-26 群馬県立文書館内 151027-226-6246

1993年創刊 https://www.gunma-chiikibunka.jp

◇59 2022.10 AB 36p 300円

《利根川源流域 特集 · 『群馬県史』 完結30年 特集》

歴史を掘る 寺入遺跡出土の三角柱形土製品

小池 雅典

伝えるということ

稲葉 友昭

発掘情報

歴史研究における地理院地図の活用

一上野国分寺跡周辺を例として

早田 勉

古代碓氷の牧と道路―安中市横野台地の発掘調査から

井上 慎也

ぐんまの歴史入門講座

第232講 原始·古代

遺跡からみた山麓生活の具体像―棚田を造った古代人

神谷 佳明

第233講 中世 片品川の合戦

諸田 義行

第234講 近世 山間に育まれた橋の文化―峡谷に架けられた刎橋 藤井 茂樹

第235講 近現代 昭和期の発展を支えた利根のダム群 第236講 利根・沼田地区の石造文化財の見方(48)

黒岩 久一 秋池 武

古文書解読入門講座(46)一古文書から歴史を読む 川場産出「桜川石

の硯 | について一桜川石採取禁止令の背景

藤井 茂樹

ぐんまのくらしと民俗 利根沼田の十二山神と水神

金井 竹徳

史跡をめぐる

沼田城跡の調査 永井 三郎

奈良古墳群の整備と活用 水田 稔

地域文化Q&A 沼田の地は大昔に湖だったのか? 石北 直樹

史料紹介 法師温泉長寿館の建造物と仏教美術 小野瀬和男

地域づくりと文化遺産 名胡桃城址をめぐる地域づくり 田村 司 でんまの人物誌 子守学校を創った石田勝太郎 高山 正

博物館・資料館訪問 沼田市歴史資料館 金井彬/間々田あずさ

一枚の写真から… 東国敬神道場(富岡市) 大谷憲康/松田猛

『群馬県史』完結三十年特集 『群馬県史』の評価と今後の課題

研究者を育てた『群馬県史』 右島 和夫

近世史料の調査収集とその保存活用 岡田 昭二

ぐんまの自然と風土 つなぐ棚田遺跡・石墨棚田 原澤 直久

埼 玉 県

◆あかんさす さいたま市立浦和博物館館報

〒366-0911さいたま市緑区三室2458 1至048-874-3960 1973年創刊

https://www.city.saitama.jp/004/005/004/005/002/

 \Diamond 119 (vol.50) 2022.3 A4 4p

浦和博物館リニューアルオープンについて

武笠祐左衛門・銀介親子の隠された生涯

磨田 顕寛

◆草加史談会だより 草加史談会

浅古倉政方 Tel.048-924-3403

♦132 2022.5 A4 4p

三新田・丁張用水の龍圦伏越

第48回定期総会と記念講演会「関東の板碑について」の報告 事務局

第53回研究発表の報告 氷川信仰と足立郡 事務局

明治初期足立郡分割と郡名論争 石井 善夫

第一三四回史跡めぐりの報告 小菅・綾瀬周辺を訪ねて

◆戸田市立郷土博物館だより

〒335-0021戸田市新曽1707 Tm.048-443-5600 1986年創刊 https://www.city.toda.saitama.jp/soshiki/377/

♦48 2022.3 A4 8p

第28回企画展 彩湖自然学習センター(みどりパル)開館25周年記念 「彩湖自然学習センター(みどりパル)の25年」

博物館実習報告/戸田市小・中学校初任者研修(施設体験研修)報告 博物館授業報告(オンライン開催)

令和3年度企画展レビュー 第27回企画展「1964―戸田に聖火が灯る」 令和3年度無形文化財写真パネル展レビュー

戸田市指定無形文化財写真展

令和3年度秋季ロビー企画展レビュー クローズアップ彩湖―植物編

令和3年度昔のくらし展レビュー 「はっけん 昔のくらし」

令和3年度講座報告―今回のピックアップ講座

収蔵庫情報(44)-上前(上戸田前新田)庚申講

◆難波田城だより
 富士見市立難波田城資料館

〒354-0004富士見市下南畑568-1 1回049-253-4664

https://www.city.fujimi.saitama.jp/madoguchi_shisetsu/02shisetsu/shiryoukan/nanbatajo/

♦91 2022.3 A4 4p

ふるさとの誇り難波田城

渋谷 晃

市民学芸員のページ 難波田城 ちょっと拝見 みどころ紹介

図録『難波田城のすべて』

小林 茂雄

おもしろ・なつかし体験(72) 紙粘土のまゆ玉だんご

安藤 昭子

人の創ったもの★人の使ったもの 御定杭と鷹場絵図

尾張家鷹場の成立/鷹場御定杭/御鷹場絵図

山野 健一

千 葉 県

◆我孫子市史研究センター会報

〒270-1152我孫子市寿1-3-12 荒井方 1至04-7182-2838

http://abikosisiken.main.jp

◇245 (通552) 2022.10 A4 12p

我孫子宿「追分道標 | 保存についての報告 - 〈市民のちからの一事例〉

関口 一郎

歴史探訪部会 10月の活動報告 探訪「我孫子市内の歴史遺産を巡る

―その3 柴崎地区」

長谷川秀也

歴史部会 9月の活動報告

県営渡船「中秋丸」就航の背景と手賀沼南岸・南相馬の文化 中臺 卓夫 我孫子市史を読む会 10月活動報告 我孫子市中峠の「襖絵・四季耕

作図」について 著者: 榎美香(関宿城博物館上席研究員) 中村 千由 古文書解読日曜部会 10月の活動報告

「牛久騒動女化日記」(故高島眞一氏所蔵文書)

田中 康弘

古文書火曜部会 10月度活動報告

柏市旧戸張村濱嶋家文書 2点

金成 典知

井上家文書研究会 10月の活動報告

No.976 表紙欠落(寛政3~8年御用留)

永長 治夫

◇246 (通553) 2022.11 A4 20p

会誌 3 号 編集委員会からのお知らせ 会誌『我孫子市史研究』 3 号 投稿規定

歴史部会 10月の活動報告

研究ノート 旧柴崎村の高札場についての一考察 飯白 和子

古代グループ 10月の活動報告 考古学とはどんな学問か(下) 宗岡 恒雄 古代史研究グループ 11月度活動報告 8世紀後半の武蔵野台地を横

断する東海道の駅路と豊島駅の所在について 星野 征朗

我孫子市史を読む会 11月活動報告 「利根川東遷について一中・下

山崎 章藏

井上家文書研究会 11月の活動報告

No.976 表紙欠(御用留・寛政3亥正月~8辰年正月)

岡本 和男

古文書解読火曜部会 11月度活動報告

柏市旧戸張村濱嶋家文書 2 点 丹羽 鼎

「象、江戸へ行く」―火曜部会12月からの解読の前に

流地域における動向を探る― | 発表者・山崎

谷村 廣子

古文書解読日曜部会 11月の活動報告

「牛久騒動女化(おなばけ)日記」(故高島眞一氏所蔵文書) 中林 孝

我孫子の社寺を訪ねる(48)

築留水神宮 我孫子市布佐3177番地16号 近江 礼子

◆鎌ヶ谷市郷土資料館だより

〒273-0124鎌ヶ谷市中央1-8-31 1配047-445-1030/

https://www2.city.kamagaya.chiba.jp/sisetsu/kyoudo_2/

♦ 59 2022.6 A4 4p

第25回ミニ展示を開催 『一本松遺跡展』―縄文時代と古墳時代のライ

フスタイル 発掘した実物遺物を展示 郷土資料館この一品(17) 野馬土手と野馬の模型 史料整理の現場から(8) 初富の古い地名について

◆房総の文化財 千葉県教育財団

〒284-0003四街道市鹿渡809-2 TEL043-422-8811 1992年創刊 http://www.echiba.org/bunkazai top.html

♦60 2021.3 A4 4p

遺跡紹介 下花輪荒井前遺跡(流山市) 流山市初の方形周溝墓(流山市下花輪荒井前遺跡)

- コラム 令和2年度出土遺物公開事業から 銛頭にみる交流のくらし /遺跡にみるエミシ(俘囚)の移配
- 出土遺物公開事業 令和2年度の報告 北方交流録―北とつながる五 つの物語/令和3年度の予告 テーマ「らくがく縄文館―滋養門土 器のマナビを楽しむ―|

♦61 2022.3 A4 4p

- 遺跡紹介 圏央道の遺跡(横芝光町・芝山町) 縄文時代の貯蔵穴一木 戸台遺跡/縄文時代の祈りの道具―山武姥山貝塚/尾根上の古代集 落一境砦跡
- 令和3年度出土遺物公開事業 らくがき縄文館―縄文土器のマナビを 楽しむ
- らくがき縄文館 みんなのランキング結果発表/令和4年度出土遺物 公開事業の予告 テーマ 柏北部東地区の遺跡展/縄文土器×3D

◆松戸史談 松戸史談会

〒270-0021松戸市根木内6-21 佐藤敬一郎方 年5000円 1961年創刊 http://www.matsudoshidankai.net

♦62 2022.11 B5 66p

松戸史談会会長就任にあたって 佐藤敬一郎 昭和三十年代の竹ケ花周辺の記憶 山室 功 川畑 光明 大川吉右衛門の家業(油業・酒浩)について 源頼朝と下総国府と太日河 花輪 茂道 禅の教え=児童文学を手掛かりに 第三話『スーホの白い馬』 石川 光学 大谷口・小金城跡の発掘を振り返る 田嶋 昌治 『千葉県から豊島区へ』 荒木 知 西と東と 字克蘭(ウクライナ)と西比利亜(シベリア)と 古木 均

田嶋 昌治

追悼 塩尻英児さんをしのんで

松戸史談会総会プレゼンテーション「これからの『松戸史談』について考える」(要旨) 担当:古木均

松戸市民参加の講演会(パートナー講座)・要旨「人生儀礼―葬送の儀礼を中心に」 講師:松戸市立博物館学芸員 青木俊也氏

松戸史談会会員勉強会(要旨)「本土寺の宝物拝観と法話」 担当:沖 福松

松戸史談会会員勉強会(要旨)「オリンピックがやってくる 松戸競馬 場顧末記 | 担当:古木均

◆みゅーじあむ・船橋 船橋市郷土資料館・飛ノ台史跡公園博物館館報 船橋市郷土資料館 〒274-0077船橋市薬円台4-25-19 1元047-465-9680 https://www.city.funabashi.lg.jp/shisetsu/bunka/0001/0005/0001/p011081.html 船橋市飛ノ台史跡公園博物館 〒273-0021船橋市海神4-27-2 1元047-495-1325 https://www.city.funabashi.lg.jp/shisetsu/bunka/0001/0006/0001/p036786.html 2013年創刊

♦18 2022.3 A4 8p

博物館ニュース 郷土資料館 「下総三山の七年祭り」関連事業/飛 ノ台史跡公園博物館 企画展「船橋のいちばん暑かった時―縄文時 代前期の地球温暖化」

船橋遺跡風景今昔(7) 高根木戸遺跡(2)

山本 稔

縄文土器の「製図」

飯塚 真人

船橋の明治・大正・昭和 角力興行仕り候

一明治27年(1894)2月、上山の相撲興行と大纒千代吉

小田 真裕

東京都

◆アーカイブ通信 ネットワーク・市民アーカイブ 〒189-0012東村山市萩山町2-6-10-1F TEL042-396-2430 年6000円 2014年創刊 http://www.c-archive.jp

♦ 26 2022.11 A4 8p

市民アーカイブ多摩開館8周年記念講演会報告 一枚のビラから〜現場から発信することば お話:松野哲二さん(チマ・チョゴリ友の

会 府中緊急派遣村) 2022年6月5日

記録・編集 運営委員会

市民アーカイブ多摩の四季(12) 冬 クリスマスローズ

邑田 仁

ミニコミ紹介

 『チェルノブイリの子どもたち』 チェルノブイリ子ども基金
 佐々木真理

 『隣人』 草志会
 菅井 憲一

第8期緑蔭トーク報告

第2回 地域に根差した学びと活動一八王子市浅川地域を中心に

奥田さが子さん(元・浅川地区社会教育推進委員会委員) 記・奥田さが子 第3回 いのちを活かせ ビジュアル資料~戦前・戦中の映像「よ

みとき」の経験から 中村光一さん (NHK元職員) 記・中村光一 リレーエッセイ 市民アーカイブ多摩のひと(2) 聴く、聞こえる 佐藤 啓子

◆あしなか 山村民俗の会

〒330-0854さいたま市大宮区桜木町4-201-2 塩野谷明夫方 TeLO48-465-7818 年5000円 1939年創刊

♦325 2022.10 B5 20p

表紙解説 鬼大師の絵葉書 (大分県立歴史博物館) 小海 敏雄

奥武蔵天目指峠の「うなぎ伝説」考(前編)

一日本各地の三島神・虚空蔵菩薩の伝承を中心に 荒井 俊昭

「丸石」の歴史民俗を考える(後編)

一「丸石」年表を手がかりに(2) 関 啓司

山里だより(35) 里山の動物たち―青梅市根ヶ布 中嶋 捷恵

旅の草ぐさ(34) 隠岐島前・中ノ島巡りと「熊野山」

一五万分の一地形図 "書き込み" より 邑科 久乃 文献紹介 あしなか随筆 山村民俗の會著(著者9名/報文18編) 塩野谷明夫

◆足立史談 足立区教育委員会足立史談編集局

〒120-0001足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 TELO3-3620-9393

♦656 2022.10 A4 4p

南北朝動乱と花俣郷 佐藤 貴浩

トロッコで土を運んだ先は… 「放水路開削のため引越」補遺 山崎 尚之

荻原ちとせ

あだち民具図典(16) 横槌 **◇657** 2022.11 A4 4p

あだち民具図典(17) 据風呂 荻原ちとせ

郷土博物館休館のお知らせ

はい、文化財係です。(30) 埋蔵文化財の試掘調査 栁沼由可子

◆足立史談会だより

〒120-0001足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 TELO3-3620-9393

♦415 2022.10 A4 4p

民主主義を見直そう 戦後の新教育指針(文部省資料昭和21.5.1) (26)

編·堀川和夫

新制足立区の誕生/周年行事で見る足立区の発展/区制90周年 郷土

博物館「文化遺産琳派の華展」 区制90周年を祝う

北海道・北東北の縄文遺跡群 なぜ世界遺産になったのか 唐沢 邦子

♦416 2022.11 A4 4p

冬季区民教養講座 講演「俳句と人生を語る」 講師:足立俳句連盟 会長・千住の芭蕉翁顕彰会会長 小谷武生先生

民主主義を見直そう 戦後の新教育指針(文部省資料昭和21.5.1) (27)

編・堀川和夫

小谷さんのプロフィール 「千住の芭蕉翁顕彰会」会長になった足立 俳句連盟会長 小谷武生さん(82歳) 西新井栄町1丁目在住(「足 立朝日」2020年3月5日号より)

俳句寺の炎天寺たより 第61回一茶まつりについて

足立区のシンボルマーク 鎌倉時代創建の寺へ移築(朝日新聞「川の 手 | 版より) 大黒湯唐破風屋根

話題の「夏井いつき」さんの俳句との出会い(朝日新聞「川の手」版 より)

◆荒川ふるさと文化館だより

〒116-0003荒川区南千住6-63-1 1m03-3807-9234 1998年創刊 https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a016/bunkageijutsu/furusato/

♦47 2022.3 A4 4p

文化財NEWS速報 令和3年度文化財保護・継承活動報告 地域の文化財を守り伝えること

野尻かおる

あらかわタイムトンネルズ(32) シカゴ・コロンブス世界博覧会の表 彰状一表彰された町の技術(2)一出品物「色革」とは何か 岡田 伊代 職人こぼれ話(17) 関岡家のお仕事一木版画摺物の貼り込み帳の紹介

亀川 泰照

◆板橋史談 板橋史談会

〒173-0015板橋区栄町24-12-203 井上富夫方 FM03-3579-3178 1966年創刊 https://sites.google.com/view/itabashishidankai/home **◇314** 2022.11 B5 39p

表紙写真解説 梶山不動尊の熊手市(板橋区赤塚一丁目九番十一号)

写真と文・井上富夫

安養院の御砂踏霊場―四国八十八ヶ所ミニチュア霊場 松崎 憲三

板橋区内の神社の石造物整備について

一四種類の石造物造立年代を中心に(1) 井上 富夫

城への誘い(5)

三原寿太郎

区政つれづれの記(10) まとめ編(1)

第1章 読み書きそろばん(昭和後期~平成)

松浦 勉

地域図書紹介

大西泰正著『論集 加賀藩前田家と八丈島宇喜多一類』 文責・井上富夫 『名誉区民小伝ー植村直己氏ー』 板橋区制施行九十周年記念出版

文責・大澤鷹瀬

コラム 思い出の起案公文書 「図説板橋区史」の刊行(平成四年)

◆奥武蔵 奥武蔵研究会

〒175-0092板橋区赤塚7-18-7 http://okumusasi.travel.coocan.jp

♦448 2022.11 B5 17p

表紙 高山不動尊奉替会発行 高山不動尊絵葉書(戦前)

大自然とのつきあい方小泉 重光幻の武甲山麓石炭事業成川 茂雄奥武蔵研究会の地域連携活動について(上)町田 尚夫日本三大水攻め・忍城関口 洋介

山行報告

天覚山~標高点392m(吾野ノ頭)河野 尚久児玉往還を歩く(4)西東 昭夫鎌倉アルプス岡野 守第34回東吾野地域を歩こう成川 茂雄地蔵岳(赤城山)高橋 澄夫10月集会山行「吾野の歴史を探る」村木 悦子

◆かつしかの文化財 葛飾区文化財保護推進委員会

〒125-0063葛飾区白鳥3-25-1 葛飾区郷土と天文の博物館 TelO3-3838-1101

♦104 2022.7 A4 4p

亀有小学校が創立150周年を迎えます小林 隆猛
 大十六部塩 充宏ブリキのおもちゃ鈴木 敬
 戦後葛飾で盛んであった、セルロイド人形中川 榮久

◆北区史を考える会会報

〒114-0023北区滝野川3-43-10-301 有馬純雄方 TELO3-3917-8115 1986年創刊 **♦145** 2022.11 B5 4p

報告 第38回赤羽文化センターまつり

山田美登里

第462回 月例研究会 700年の時を超えて一王子村と王子神社 石倉 孝祐

◆現在学研究 現代学研究会

〒146-0091大田区鵜の木2-33-81 2018年創刊

♦10 2022.9 A5 88p

特集 コロナ禍における「日常」一普通の日常一とは?

コロナ禍での祭り・イベント素描

二〇二二年の小倉祇園太鼓とおながわみなと祭り

中野 紀和

コロナ禍における「ふつう」の暮らし

倉石 忠彦 倉石 美都

博物館も新型コロナウィルスにやられた!

コロナ禍と嫁のチュソク(秋夕)

倉石あつ子

座談会 ママ友とはなにか 「母親」たちの現在学

司会・及川祥平

ママ友座談会を終えて

髙久 舞

◆国史学 国史学会

〒150-8440渋谷区東4-10-28 国學院大學史学科気付 16103-5466-0246 年4000円 https://www2.kokugakuin.ac.jp/kokushi/

♦236 2022.9 A5 121p

東寺長者の拝堂儀礼に関する基礎的研究--「長者拝堂記」を中心に 古田 功治 1897年ワシントン海獣保護条約の再検討 髙橋 亮一 書 評

伊藤陽平著『日清・日露戦後経営の議会政治―官民調和構想の相克』

中元 崇智

高村聰史著『〈軍港都市〉横須賀―軍隊と共生する街』 齋藤 義明 新刊紹介

清武雄二著『アワビと古代国家―『延喜式』にみる食材の生産と管

理 相原 志保

鈴木靖民監修、高久健二・田中史生・浜田久美子編『古代日本対外

花畑 佳奈 交流史事典』

関和彦著『古代出雲にみた日本神話』 市川 大和

田中史生著『渡来人と帰化人』 佐藤 亮介 谷口雅博編『特集「日本書紀」研究の現在と未来』 平井 智規 杉山一弥編『図説鎌倉府』 梶田 航平

東京大学史料編纂所『藤波家旧蔵史料の調査・研究』 勝村 渓太

永井晋編『鎌倉僧歴事典』 百瀬 顕永

久水俊和著『中世天皇葬礼史』 佐藤 瑞樹

岩橋清美・片岡龍峰著『オーロラの日本史―古典籍・古文書にみる

記録』 松本日菜子

深井雅海著『刀剣と格付け 徳川将軍と名工たち』

村上 瑞木

谷口康浩編『居家以岩陰遺跡Ⅱ 第2次·第3次発掘調査報告書』松本 耕作 青木敬·大日方一郎編『長野県安曇野市穂高古墳群 2018·2019年

度下9号墳発掘調査報告書』 樋口 典昭

10月例会報告要旨

教員の視点から博学連携を考える

山崎 綾子

平成二十九年告示小学校学習指導要領における「昔くらし体験」の

扱い 船津 涼子

『The New York Herald』 新聞記事にみる万延元年使節団の動向 とミュージアムーパテント・オフィスとスミソニアンを中心に

伊東俊祐/小池郁弥/張蓉/寺中憲史/

戸倉博之/時吉咲子/真島啓輔/渡邉里美

12月例会報告要旨 白山曼荼羅図再考

黒田 晃弘

1月例会報告要旨

平安宮中重の空間的特質 佐藤 亮介

延暦年間における公廨稲停止・再設置についての再検討 増成 一倫

◆史 叢 日本大学史学会

〒156-8550世田谷区桜上水3-25-40 日本大学文理学部史学研究室内 TELO3-3329-1151

♦107 2022.9 A5 32p

昭和初期雑誌論壇における日本陸軍の派閥対立認識

——九三一~一九三六年 柴本 一希

天正三年織田信長の徳政令をめぐって一『壬生家文書』より 臼井 進

◆十條村研究 榎本龍治

〒114-0034北区上十条3-29-21 シェルムアイ303 1m03-3905-4699

◇7 (通29) 2022.10 A5 23p

史料紹介 武蔵国豊嶋郡十条村検地帳(九冊之内九) 榎本 龍治

調査報告 上十条村検地史料の概要 榎本 龍治

編集前記 「旧十条村 高木家文書」調査について 編集後記 平部三平

◆城郭だより 日本城郭史学会会報

〒174-8691板橋区板橋北郵便局私書箱50号 TELO3-3967-1948 年6000円 1993年創刊

♦119 2022.10 A4 6p

高崎城の障子堀築城時期が判明

最近の城郭ニュースから1 佐和山城跡で大規模な溝発見 外堀跡か /上田城跡 武者だまり写真発見/名古屋城 米蔵の位置・構造が 判明/大桑城 発掘調査開始

最近の城郭ニュースから 2 勝瑞城館跡 細川氏の守護館と判明/沼 田城 金箔瓦の破片発見/鹿沼城 障子堀発見/丸亀城三の丸石垣 高さ国内二位に/宇土櫓 高石垣は二五メートル

目安箱 廊下橋(平成23年第72号『城郭だより』 西ヶ谷恭弘執筆を 転載)

最近の注目される城郭図書から 竹井英文著『杉山城問題と戦国期東 国城郭』、西ヶ谷恭弘著 笹崎明編集協力『四七都道府県・城郭百 科』、中村博司著『天下統一の城 大坂城〈改訂版〉』、山口充・佐 伯哲也編『北陸の名城を歩く 福井編』、佐伯哲也編『北陸の名城 を歩く 富山編』

各地の城郭研究会の活動から 和歌山城郭調査研究会、日本古城友の 会、東海古城研究会、戦国と城を学ぶ会

日本城郭史学会活動から 7月鉢形城見学会、9月セミナー

◆杉並郷土史会史報

〒167-0022杉並区下井草3-12-9 新村康敏方 1973年創刊 http://www.sugi-chiiki.com/rekishikai/

◇296 2022.11 A4 8p 400円

内田秀五郎の業績と井荻町土地区画整理(後)

寺田 史朗

関連する図書紹介と寺田論文(前・後)の読みどころ

『井荻町土地区画整理事業の研究』髙見澤邦郎著 南風舎 06.7 波 巌

◆世田谷区誌研究会会報

〒158-0094世田谷区玉川3-30-5 野岸敏雄方 年2000円 https://setagaya-kushiken.jimdofree.com

◇2022-11 2022.11 A4 6p

11月講演会 演題 鎌倉街道と奥州古街道の魅力―世田谷の古街道と

各地の"道"の遺跡 宮本太郎氏/10月の活動報告

世田谷の民話(37) だんごいなり(三宿神社)/三宿音頭

せたかい52号より 作者・二瓶英二郎

世田谷の民話(38) たぬきばやし(三宿神社)/昔の三宿

せたかい52号より 作者・二瓶英二郎

◆戦国史研究 戦国史研究会(発売:吉川弘文館)

1981年創刊 http://www.sengokushi-kenkvukai.jp

◇84 2022.8 A5 48p 682円

明応の政変後の争乱における畠山義豊と足利義澄陣営 小池 辰典 新出の上杉憲勝書状 黒田 基樹

北条氏邦と藤田綱高 浅倉 直美

荘官家の細川京兆家被官化 馬部 隆弘 『古簡雑纂』所収「卯月二日付大館晴光宛大和晴統書状写 木下 昌規

永禄十一年上洛時における織田信長の宿所について

 一「古津所」をめぐって
 河内 将芳

 津川義近(三松斎)と鷹書
 木下 聡

 慶長四年の結城秀康
 大西 泰正

戦国史関係論文目録(令和3年7月~12月)

例会報告要旨

第493回例会

足助鱸氏の動向と変容―奥三河の国衆から家康の側近へ 小川 雄

第494同例会

長岡(細川)藤孝の領域支配―織田政権期を中心に 谷橋 啓太

第495回例会 「庄内問題」と最上義光の外交 菅原 義勝

第496回例会

上杉景勝と豊臣政権一新発田重家との抗争を中心に 福原 圭一

第497回例会

小田原北条氏と円覚寺―塔頭への外護と本寺への関与 梯 弘人 第498回例会 大坂冬の陣開戦時における福島正則の行動 草刈 貴裕

訃報 柴辻俊六氏 久保田昌希

◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会

〒157-0061世田谷区北烏山2-3-9-101 光田憲雄 16103-3307-2146

http://daidogei.info

◇371 2022.10 A4 2p 100円

神奈川大学エクステンション講座 日本の大道芸と物売り芸

◇372 2022.11 A4 2p 100円

辻占 辻占とは何か/近世の辻占と辻占売り/新聞雑誌に見る売り子 大阪を中心として/現在の辻占/動物を使った辻占/軍国美談と辻 占売り/辻占と辻占菓子/まとめ

◆多摩地域史研究会会報

〒207-0033東大和市芋窪4-1735-1-103 梶原方 1991年創刊 http://tamatiken.web.fc2.com

♦151 2022.11 B5 10p

第112回例会報告 元八王子の城下町を歩く

加藤 哲

新刊紹介 菊池紳一監修・北条氏研究会編『北条義時の生涯 鎌倉幕 府の草創から確立へ』 :

北村 拓

地域史情報室 東京都公文書館・国分寺市教育委員会共催企画展 史 料に見る国分寺のあゆみ一江戸時代の村々一/令和4年度江戸東京 たてもの園特別展 江戸東京博物館コレクション―東京の歩んだ道

◆東京産業遺産学会 NEWSLETTER

♦157 2022.11 A4 6p

シンポジウム「文明開化と鉄の路」―わが国最初の鉄道路線と高輪築 堤問題を考える 産業遺産学会高輪築堤研究会WG+東京産業遺産 学会

佐久発電所の建設とダム・水圧鉄管 産業遺跡に見る明治の鉄道創設と技術移転 長谷川福次

井草 邦雄

茨城県ひたなか市の赤煉瓦建築物(4) 「旧氷貯蔵庫」 文・写真 八木司郎

◆八王子市郷十資料館だより

〒192-0902八王子市上野町33 TeL042-622-8939 1977年創刊 https://www.city.hachioji.lg.jp/kankobunka/003/005/p005312.html

♦109 2022.2 A4 8p

《桑都日本遺産センター八王子博物館(はちはく)開館記念号》

はちはくの開館について 菅野 匡彦 日本遺産と桑都・八王子 平塚 裕之 高尾山の魅力がいっぱい―高尾山のテーマ展示より 小林 央 柳沢 誠 はちはくで関東の名城を知る 八王子宿のストーリーをひもとく 加藤 典子 「桑の都」と「織物のまち」 美甘由起子 交流ゾーンを楽しむ 中村 明美 阿部 香子 「八王子歴史年表| はちはくグッズ 矢田美穂子

◆文化財ニュース 千代田区立日比谷図書文化館

〒100-0012千代田区日比谷公園1-4 TELO3-3502-3348/03-3502-3361 2012年創刊 http://edo-chiyoda.jp

◇27 2022.7 A4 8p

特集 新指定文化財の紹介 有形文化財(歴史資料) 江戸城本丸・西丸御殿建築図面 38点 千代田区所蔵/有形文化財(絵画) 龍星 閣旧蔵竹久夢二コレクション 616点 千代田区所蔵

特集 新指定文化財の紹介

(1) 龍星閣旧蔵竹久夢二コレクション 平町 允 (2) 江戸城本丸・西丸御殿建築図面 篠原 杏奈 ミュージアムガイト 日比谷図書文化館 常設展示室の展示替え 山田 将之 文化財事務室通信

こんなこともやっています―資料の受入れから公開までの流れ 井坂 綾

◆港区立郷土歴史館だより

〒108-0071港区白金台4-6-2 ゆかしの杜内 Tm.03-6450-2107 2019年創刊 https://www.minato-rekishi.com

♦12 2022.6 A4 2p

特別展「"Life with ネコ"展」 ネコの足跡 山根 洋子 旗本花房家屋敷跡遺跡の黒曜石 平河内 毅

♦13 2022.9 A4 2p

特別展「鉄道開業150周年記念 人物でみる日本の鉄道開業 |

◆港区立郷土歴史館ニュース

〒108-0071港区白金台4-6-2 ゆかしの杜内 Tel03-6450-2107 2019年創刊 https://www.minato-rekishi.com

♦12 2022.6 A4 4p

特別展 Special Exhibition 「"Life with ネコ" 展」

♦13 2022.10 A4 4p

特別展 Special Exhibition 鉄道開業150周年記念「人物でみる日本の鉄道開業」

◆武蔵国分寺跡資料館だより

〒185-0023国分寺市西元町1-13-10 1至042-323-4103

http://www.city.kokubunji.tokyo.jp/shisetsu/kouen/1005196/1004239.html

♦48 2022.6 A4 4p

武蔵国分寺跡が史跡指定100周年を迎えました/100周年キャッチフレ

ーズ「天平の記憶 つないだ100年 つなぐ100年 |

史跡指定100周年記念連載記事(1) 武蔵国分寺跡/史跡保護のあゆみ

石井 秀和

神奈川県

◆厚木市史たより

〒243-0018厚木市中町3-17-17 厚木市教育委員会文化財保護課 TEL046-225-2060 2010年創刊

◇27 2022.10 A 4 4p

考古遺物からみた厚木の古代の秤

葉山 茂英

◆浮世絵館だより 藤沢市藤澤浮世絵館

〒251-0041藤沢市辻堂神台2-2-2 ココテラス湘南 7 階 TEL0466-33-0111 2016年創刊 https://fujisawa-ukivoekan.net

♦ 17 2022.2 A4 6p

展示紹介 「広重の竪絵東海道勢ぞろい 12Daysの京旅行」

12Days で日本橋から京へ?/東海道から伊勢参り

「浮世絵が描く鎌倉幕府の物語」振り返り(1)

9代目市川団十郎熱演一荒法師・文覚上人

山本野理子

「浮世絵が描く鎌倉幕府の物語」振り返り(2)

大庭城

- 浮世絵こぽれ話(14) 街道の景色 歌川広重「五十三次名所図会 七藤沢 南期の松原左不二|
- 二代目オニカゲ学芸員のページ(6) 任命!屏風調査係~未知なる絵師を求めて

♦18 2022.7 A4 4p

展示紹介 「FUJISAWA LEGACY ENOSHIMA UKIYO-E 江の島 詣と浮世絵でみる弁財天信仰の歴史」

「江島詣」の降盛と江島の御師

鈴木 良明

二代目オニカゲ学芸員のページ(7) 浮世絵を自分で摺ってみると…

◆大山街道ふるさと館だより 川崎市大山街道ふるさと館 〒213-0001川崎市高津区溝口3-13-3 ™L044-813-4705 http://furusatokan.web5.ip

♦69 2022.5 A4 4p

令和4年度第1回企画展「さとう菊夫作品展~心に残る川崎の風景」 /令和4年度第2回企画展ふれあいクラブ高津「第28回趣味の作品 展」

企画展 開催のお知らせ「のぞいてみよう昔のくらし―昭和から平成 へ」

令和3年度第4回企画展 記念講演会「水害伝承からみる多摩川一水 害と治水のはなし一」報告/令和3年度第5回企画展「地域が創出 するカルチャー展」および「高津のまちアーカイブ展」報告/令和 4年度春季大山街道学習講座「歩いて知ろう大山へ」報告

ミニ企画展 青木幸夫氏「切り絵シリーズ⑰ "生きている"」/イベントホールギャラリー利用報告 写真展「田園都市線・大井町線がある日常

◆小田原ガイド協会だより

〒250-0014小田原市城内3-22 1610465-22-8800

http://www.odawara-gaido.com

♦91 2022.3 A4 6p

今!下水道のマンホール蓋が熱い!! Manhole Cover 小田原市デザインマンホール蓋設置事業

企画ガイド 阿弥陀寺―初めての企画ガイド

企画ガイド 板橋界隈の庭園めぐりを終えて

早川駅からガイド 『石橋山古戦場』

吉岡 雅史 石塚三津江 富澤 節子

まち歩き『箱根寄木細工』露木木工場 岩本 陽子 小田原城址の野鳥 第三回 曲輪編 畠山 義彦 リレーエッセイ わたしの城旅(15) 寒中の「彦根城」一人旅 鈴木 夏実

◆小田原史談 小田原史談会

〒250-0021小田原市早川160 青木良一方 Tel0465-22-8852 年3000円 1961年創刊 http://odawara-shidan.hustle.ne.jp

♦271 2022.10 A4 28p

講演録 相模湾からみた人類の歴史(上)

講師・杉山浩平 柏木 彩子

小田原の梅干(下)-前羽地区を中心に 浅羽佐喜太郎とファン・ボイチャウ

石井 敬士

新井恵美子著「約束の海」一浅羽佐喜太郎物語編集担当・松田理香

酒匂川水系に見る「治水技術の継承 |

片桐 稔晴

中談再録(第159号より) 銀行支店長を勤めた片岡永左衛門さん 南里 哲

◆神奈川県立公文書館だより

〒241-0815横浜市旭区中尾1-6-1 TELO45-364-4456 1994年創刊 https://archives.pref.kanagawa.jp/www/

♦47 2022.10 A4 2p

ひらがなは100以上あった? 昔のひらがなを読んでみよう!

令和4年度夏休み親子講座

関根 豊

企画展示「諸外国とつながる神奈川」

内藤 潤

◆かまくら女性史の会 Newsletter

〒248-0012鎌倉市御成町18-10 NPOセンター鎌倉気付 メールボックス26 2013年創刊 https://kanagawajoseishi.jimdofree.com

♦99 2022.11 A4 2p

多様な学びを保障する場―夜間中学について学び考える 多和田真理子

シリーズ:私たちの「戦争体験 | (24)

第3話「義母に聞く 引揚2」

高階志津江

「エリアナ・パヴロバ顕彰碑修復についての要望書」を10月21日に鎌

倉市長及び文化課に提出

(構松)

♦100 2022.12 A4 2p

わたしのノンフィクション作法

江刺 昭子

シリーズ:私たちの「戦争体験 | (25)

第1話「北朝鮮羅津にて」

阿部 光世

「エリアナ・パヴロバ顕彰碑修復についての要望書」についての回答

書(11月8日付)届く (横松)

NL100号を迎えて 編集後記

(多和田・石崎)

◆首都研ネットワーク 首都圏形成史研究会

〒231-0021横浜市中区日本大通3 横浜開港資料館内(事務局:西村健) TEL045-201-2169 年3000円 http://shutokenshi.org

♦95 2022.11 B5 4p

研究例会 第123回例会 太田知宏「用排水幹線改良事業と農業水利 慣行一千葉県西北部における機械揚水を中心に」、高原太一「地元 中学生が記した砂川闘争1955-56—文集「スナガワ」の検討から」/ 次回の研究例会 第124回例会(予定) 関東大水害をテーマとして 研究報告及び水害関連史跡巡見

情報ネットワーク 展示会情報!

小研究会の活動状況 首都圏災害史研究会、戦後首都圏研究会

◆扣之帳 扣之帳刊行会

〒250-0021小田原市早川60 青木良一方 Tel.0465-22-8852 年2500円 2003年創刊

◇77 2022.10 A5 136p 500円

千利休と天正十八年小田原戦役一畑の平『利休山の家』と海辺の太閤

道『一夜城兵站線』を考える 田代 道彌

小田原・文学の小箱(7)一私のコレクションから

福田正夫の書簡一南江治郎宛て 杉山 博久 小田原藩吉田島組合金井島村の仕法 尾上 武 服部道知さんのこと 下田 勝也 続々・ボクの映画館(6) 黒澤明の「処女作」『姿三四郎』 平倉 正 17: 石川 和彦 能に纏わる四章〈幻想微片〉 古濠 追宝 田中 豊 諸々の思い出(7) 頼朝四話 石橋山合戦・負け戦さの「大将軍」 青木 良一 随筆 ある町の一劃での午睡のはて 芳賀喜久雄 鉄斎の謎(3) 茂木 光春

◆民具マンスリー 神奈川大学日本常民文化研究所

〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1 1至045-481-5661 年3500円

1968年創刊 http://jominken.kanagawa-u.ac.jp

◇656 (55-8) 2022.11 A5 24p 350円

民具は生きている一屋久島での民具との出逢いと歩み 黒飛淳/荒木真歩

近代琵琶湖の竪窓 後編

渡部 圭一

◆柳田学舎 鎌倉柳田学舎

〒248-0024鎌倉市稲村ヶ崎1-15-17 曽原糸子方 151.046-724-3810

♦170 2022.11 A4 51p

ハワイと沖縄 島の王国―近代化と民族文化

松尾 達彦

『遠野物語』を読むということを通して、感じて、考えたこと

中野 正人

「柳田国男はなぜ『遠野物語』を書いたのか|永池健二

中野 正人

「なぜ、祭りを続けなければならないのか」

-名倉愃一郎「コロナ下の祭り」から故郷の祭りを考える 飯澤 文夫

野の学びと紙碑―常民大学のひろば

宮本常一と谷川健一、そして網野善彦(その6)(杉本仁)『甲斐』 出会いの大切さ(名倉愼一郎)『遠州常民文化』

「木原大念仏の変遷」に関して(伊藤久仁俊)『遠州常民文化』

ムラと婦人―生活改良普及員の生活をふりかえって 4(今村純子)

『渍州常民文化』

「常民」の農業用水(16) 曽代用水(岐阜県美濃市)(中山正典) 『遠州常民文化』

私が出会った研究者たちと著作(20)(米津幸男)『遠州常民文化』 三重の本 書評『柳田國男自筆 原本 遠野物語』『伊勢新聞』 刊行物から

著者に会いたい 『遠野物語と柳田國男 日本人のルーツをさぐる』 『朝日新聞』

日言 『南信州新聞』

麦の記憶 民俗学のまなざしから 野本寛一著(梅内美華子) 『讀賣新聞』

ふんどしニッポン 井上章一著(鵜飼哲夫) 『讀賣新聞』

折々のことば 2506 (鷲田清一) 『朝日新聞』

日本近代村落の起源 松沢裕作著(刈部直) 『讀賣新聞』

『通信』336 柳田国男を読む会

磐田見付天神祭 3年ぶりに神輿渡御 『静岡新聞』 『中日新聞』 高齢者多いこと自覚した政策を(和田秀樹)『産經新聞』

新潟県

◆高志路 新潟県民俗学会

〒950-0916新潟市中央区米山3-1-31-1101 金田文男方 TEL025-241-9402 1935年創刊 https://fsnp.mints.ne.jp

♦426 2022.10 A5 32p

「阿賀町八木山 渡部一郎家棟札」 小澤 弘道 二○二二年コロナ禍により略された祭り一西川まつり 坂井 美香 蓮潟の民俗一女池街道(カイロ)懐かしの樹木 岩野 笙子 福島県のコシオウ神社一所在地情報と現地報告 高山 秀一神社明細帳からみたカミガミを迎え祀る場 金田 文男 小報告 鮭の供養塔婆について 金田 文男

表紙写真 柏崎市熱田神社の炭置き(天気占い)

1999年(平成11)1月14日

撮影・金田文男

◆新潟県立文書館だより

〒950-8602新潟市中央区女池3-1-2 TEL025-284-6011 2001年創刊 https://www.pref-lib.niigata.niigata.pi/?page_id=569

♦36 2022.3 A4 4p

越後佐渡おもしろ歴史ばなし

石神村林泉寺文書にみる、ある女性の生涯

令和3年度特別企画展「郵便今昔物語一郵便創業150年」

令和3年度 第1回~第6回企画展紹介 第1回「江戸の村医者から明治の病院へ」、第2回「幕藩体制を支えた村役人の文書―堀之内組大庄屋宮家と見附町大庄屋金井家」、第3回「文書館収蔵資料にみる印鑑使用の歴史」、第4回「岩船郡関川郷 山の村の暮らし」、第5回「文書館資料に見る明治から大正の学校生活」、第6回「近世の村の事件簿」

令和4年度文書館主催講座一覧 文書館職員(アーキビスト)随想

(横田)

◆新潟史学 新潟史学会

〒950-2102新潟市西区五十嵐二の町8050 新潟大学人文学部史学研究室内 TELO25-262-6289 1968年創刊

◇83 2022.7 A5 84p 1000円

御雇教師キング暗傷事件についての考察

ーその外交的含意を中心として(上) 至急武器を出荷されたし―スネルの武器調達 動 向 青柳 正俊 西田 泰民

『新潟県史』『佐渡相川の歴史』の意義を考える

ー編纂経緯と資料編・通史における鉱山記述の分析 公文書管理法下における新潟県内のアーカイブ事情 竹田 和夫 長谷川 伸

書評 横木剛『新潟の廻船問屋―近世・近代期の地方湊町における商



*新潟市は2021年、公文書の管理に関する基本的事項を定めた「新潟市公文書管理条例」を制定し、市政を検証するために後世に残すべき重要な公文書のうち、保存期間が満了した行政文書や、個人などから寄贈を受けた資料を「特定歴史公文書」と位置付けた。翌22年1月には、この利用提供、所蔵資料の公開などにより、新潟市の歴史に関する調査・研究を支援する機関として新潟県市文書館を開館した。素晴らしいことである。

長谷川伸「公文書管理法下における新潟県内のアーカイブズ事情 2011~2022」は、国の2009年制定、2011年施行の「公文書の管理に関する法律」以降の新潟県内のアーカイブ動向を、(公)文書館施設、公文書管理条例、資料保存運動、人材育成の観点から紹介し、今後の課題を検討したものである。

新潟県内ではこの10年で、新潟県市文書館のみならず、上越市公文書センター、新発田市立歴史図書館が設置され、新潟市に先行して、「新潟県公文書の管理に関する条例」も制定された。また、新潟中越地震をきっかけに新潟歴史資料救済ネットワークの設立や、県・自治体で構成する新潟県歴史資料保存活用連絡協議会によって、『古文書保存・整理の手引き(改訂版)』の刊行がされるなど、ハードや法的な整備は急速に進んだ。

その一方で、専門職としての認証アーキビストや学芸員の任用は少なく、行政

職員などに頼らざるを得ない状況にある。長谷川氏はかねて、人材難、財政難、 育成難を克服しなければ、「おそらく後世の人々が求める説明責任を果たすこと のできる、本当に歴史的に重要な文書は残らない」ことを指摘し、その提言をし てきている。今後の、県・自治体の対応に注目していきたい。

◆良寛だより 全国良寛会会報

〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文化博物館新潟分館内 TEL025-222-2262 1978年創刊

♦178 2022.10 A4 16p

「和上執毫」棟方志功・画(出雲崎町良寛記念館蔵)

第44回全国良實会 出雲崎大会開催

生誕地で良寛に思いをはせ/「良寛の魅力は」 竹村さんらが鼎談 アトラクションとおもてなしで歓迎 120名が参加して笑顔で交流 会/参加者の声/「良寛堂を描いた作品」で振り返る 良寛のルーツ 見て聞いて回った「良寛の声が聞こえる」/参加者 の声/良寛堂を建立した佐藤耐雪展/良寛堂建立百周年記念し切手を発売

私の好きな良寛さん

須磨寺の昔を問へば山桜よしや寝む須磨の浦回の波枕 器楽堂ゆう子 山かげの岩間を伝ふ苔水のかすかに我はすみわたるかも 吉田 福恵 [復刻 良寛だより] いよいよ発刊! 柳本 雄司 相馬御風の良寛(27) 良寛堂建立と靫彦・耐雪・御風(下) 金子善八郎 良寛 衲衣の詩 吉田 福恵 良寛を今に伝えた人びと(8) 上杉篤興 本間 明

トピックス

雨の中、隆泉寺で良寛墓前法要新潟大学の学生も参加、良寛研究

所の将来に知恵を 加藤僖一氏「建物や作品等を活用して」 吉井 清一 「私の好きな良寛の歌」アンケート結果 本間 明

新刊紹介 「加藤僖一 書道随想」加藤僖一著、「詩集 残照のかがや き | 黒羽由紀子著

会報紹介 良寛さま第107号(岡山良寛会)、すみれ第14号(巻良寛会)、

しばた良寛会だより第33号(新発田良寛会)

良寛を訪ねて(27) 燕市分水 解良家(中)

吉井 清一

長 野 県

◆飯田市歴研ニュース 飯田市歴史研究所

〒395-0803飯田市鼎下山538 TEL0265-53-4670

https://www.city.iida.lg.jp/soshiki/39/

♦121 2022.12 A4 4p

第19回飯田市地域史研究集会「満洲移民―下伊那から再考する― | を

開催しました 9月10日・11日

羽田 真也

新史料紹介 王子製紙の遠山進出を記録する経営史料について

太田 仙一

リレーミニエッセイ(27) 刊行開始から約70年経過した『信濃史料』

と刊行終了後約30年経過した『長野県史』

田島 公

新刊案内 飯田市歴史研究所年報20

歴研ゼミ紹介 近現代史ゼミの20年

田中 雅孝

◆伊 那 伊那史学会

〒395-0081飯田市宮ノ上4048 1510265-22-6017 年5500円

◇1134 (70-11) 2022.11 A5 50p 550円

口絵 今村理則先生小照・略年譜・著書

今村理則先生 思い出のアルバム

お別れの詞 吉澤 健

今村理則先生追悼文

今村理則先生を悼む 原田 望

お陰さまです 感謝不尽 中島 正韶

伊那谷地名研究に刻む 今村理則氏の資料 原 董 憧れの理則先生とお別れして 今村 文一

無欲恬淡たるお考えと深き追究 吉澤 健

今村理則氏との出会いと竜丘史学会 下平 隆司

今村理則先生のご逝去を悼む 清水 迪夫 夢ならば醒めよ 林 佐恵子

お礼の言葉 今村 道子

今村理則先生 「伊那」掲載一覧

重要文化財 福徳寺本堂の柱の木切れ 桃沢 匡行

今田の里の人形浄瑠璃芝居一育て支えた今田の里と人々(5)

第五章 旅回りの人形遣いを迎え入れる里人 大原千和喜

「信濃寮」開閉に関わった飯田人二人 岡田 正彦

信州学生協会信濃寮回想記	石川	捷敏
下伊那日録 2017(平成29年)11 · 12月	寺田	一雄
◇1135 (70-12) 2022.12 A5 50p 550円		
口絵 伊那史学会の看板	原田	望
伊那史学会 主幹 退任のことば	原田	望
書家、宮澤秀臣翁遺聞一伊那史学会の緑の小旗に寄せて	鎌倉	貞男
「伊那」へ書き残しておきたかった事	三代島村・望	
捨て鉢の仕掛け(ウナギ捕り)の思い出	木下	正道
伊那谷の木地師の歴史 「深山秘録」の続編を読む(1)	松澤	英男
今田の里の人形浄瑠璃芝居一育て支えた今田の里と人々(7)		
第七章 今田人形浄瑠璃芝居第二期黄金時代	大原-	千和喜
『伊那』の活力「古文書クイズ」	片岡	利貞
下伊那日録 2018(平成30年)1・2月	寺田	一雄
伊那 第七〇巻総目録 〈2022.1〉より〈2022.12〉まで		
◆伊那路 上伊那郷土研究会		
〒399-4117駒ヶ根市赤穂11193-7 吉田保晴方 年6000円		
◇ 789 (66-10) 2022.10 A5 40p 600円		
春に誘われ十王像へ一駒ヶ根市東伊那・下平	宮下	明子
手良は松茸の一大産地だった	宮原	達明
ト伊那の植物(2) オモダカ(オモダカ科)	伊藤	一幸

1 000 111 M 7 M 1 M M 1 1 1 0 0 0 0 1 1						
◇ 789 (66-10)2022.10 A5 40p 600円						
春に誘われ十王像へ―駒ヶ根市東伊那・下平	宮下	明子				
手良は松茸の一大産地だった	宮原	達明				
上伊那の植物(2) オモダカ(オモダカ科)	伊藤	一幸				
富県の青いアサガオ―小学校から拡がった地域の光景	酒井	由里				
戸台分校物語(5)一へき地教育の到達点	岩崎	靖				
古文書の窓(169) 心優しい代官からの書状(2)	三浦	孝美				
伊那谷の山の鳥―民俗の窓を通して(43)	吉田	保晴				
図説・上伊那の民俗(63) 蚕玉神社(伊那市西箕輪大萱)	三石	稔				
徒然さんぽ(39) もみじ湖(箕輪ダム) 箕輪町	絵と文・吉田勝美					
◇ 790 (66-11)2022.11 A5 40p 600円						
《特集 寄託された石仏》						
延命地蔵菩薩寄託の経緯	新井	将史				
貞治仏の移送を担って	下島	順一				
延命地蔵菩薩の寄託から展示まで	有賀	克明				
2022年春 貞治仏と新井さんご夫妻	笠原	千俊				
高頭町歴史博物館に寄託された延命地蔵						
―彫像に見る二つの特異形態を検討する	田中	清文				
貞治仏移設の記録	大澤佳寿子					

貞治仏搬入後の取り組み

福澤 浩之

図説・上伊那の民俗(64)

諏訪形諏訪神社御柱祭(伊那市西春近諏訪形)

三石 稔

徒然さんぽ(40) 曹洞宗光久寺 伊那市殿島

絵と文・吉田勝美

◆信 濃 信濃史学会

〒399-0036松本市村井町南1-28-35 年10200円 1至0263-58-1213

http://www.shinano-shigakukai.jp

◇873 (74-10) 2022.10 A5 100p 1150円

《特集 追悼 小松芳郎前会長》

追悼文

早すぎる逝去を悼む 後藤 芳孝

経歴・著作目録

先輩 小松芳郎さんを偲んで 多田井幸視

松本市立島内小学校五年三組 百瀬 美香

小松芳郎さん「この若さに期待しましょう」(『かおす』創刊号) 小平 千文

小松芳郎さんが遺したお仕事―『篠田家と篠田修輔』 山田 正子

松本市史編さんの頃の小松先生 関沢 聡

小松さんと民俗学 福澤 昭司

小松芳郎先生と長野県民俗の会 田澤 直人 「喜源治」での修士論文指導 伊藤 純郎

小松芳郎さんと戦争遺跡 原 明芳

小仏方郎さんと戦于退跡 原 明方

小松芳郎先生と「木曾」の山林学校 巻山 圭一 追悼 小松芳郎氏 - 小川千代子

小松芳郎さんを偲ぶ 新井 浩文

小松芳郎先生を偲ぶ 木曽 寿紀

小松さんにとっての現代史編さん
村石 正行

記者として出会って 有賀 文香

芳郎さんへ 小松 弓子

案内役からみた伏見宮博英の諏訪踏査 上條 信彦

記念講演 新しい県史に向けての提言 井原今朝男

*2022年2月に72歳で亡くなった信濃史学会元会長 小松芳郎氏を追悼する。

同氏は長野県東筑摩郡中山村(現松本市中山)に生まれ、松本深志高校で上條宏 之氏に日本史を学び、信州大学に進んで、竹内誠氏や森安彦氏の薫陶を受け、松 本藩の廃仏毀釈を卒論にした。まことに恵まれた学びの時代であったといえよう。 学生時代に信濃史学会に入会し、卒業後は小学校教諭として木曽や松本地域で



教壇に立った。その後、県史刊行会の常任編纂委員として出向し、さらに、教員の身分のまま松本市史編さん室長となるが、やがて教員を退職して松本市職員となり、松本市文書館がオープンすると初代館長に就任した。2016年からは2期6年間、信濃史学会会長を務めた。この間、全国歴史資料保存利用機関連絡協議会資料保存委員長、同会副会長、松本市文書館館長を退いた後は、同館特別専門員、松本史談会会長、長野県立歴史館協議会会長、安曇野市誌編纂委員会委員長などの要職を歴任した。

最初の赴任校である木曽郡木曽福島町立黒川小学校で地域の歴史調査にのめり込み、後に街道や山林についての論考を執筆した。著作・論考は膨大な数に上り、自らの手で、2020年までの「著作・文献目録」を4判60枚、「講演目録」を同124枚に残しているという。そこからの抜粋編が、後藤芳孝「早すぎる逝去を悼む」の文末に「経歴・著作目録」として掲載されている。私事ながら、筆者も『市史編纂から文書館へ』(岩田書院ブックレット4 2000)と『松本平からみた大逆事件』(信毎書籍出版 2001)を常に目の届く書棚に置いている。

まさに早すぎる逝去であった。哀悼の意を表したい。

◇**874** (74-11) 2022.11 A5 84p 1150円

《近現代史特集》

明治一七年の地方制度改正と合併村政

一長野県東筑摩郡島立村を事例に

田口 拓海

五島慶太の文化事業

―更級郡信田村の農業の具体像をとおして

田中 薫

◆長野県民俗の会通信

〒384-2104佐久市甲135 田澤直人方 TEL0267-88-6927 年5000円 http://nagano-minzoku.chu.jp

♦292 2022.11 B5 12p

「信州生き物文化レッドデータブック」作成の提案 浦山 佳江 民俗資料と向き合う一第231回例会に参加して 巻山 圭一 松川町の蛇頭 下平 武 (株)しずかのツケ払い 市東 真一 新盆見舞い(2) 田澤 直人 葉書でつぶやくコーナー 安曇野には道祖神がよく似合う 倉石 忠彦

静岡県

◆静岡県近代史研究 静岡県近代史研究会

〒422-8526静岡市駿河区谷田52-1 静岡県立大学国際関係学部 森山優研究室 年4000円 1979年創刊 https://shizuokakenkindaishi.wordpress.com

◇47 2022.10 A4 84p 1000円

総会講演記録

渋沢栄一の講演録からみる「道徳」観の変容と教育への期待 見城 梯治 満蒙開拓青少年義勇軍、郷土中隊と内原訓練所を切り口に 一條 三子 大正期の第二次盲唖教育令制定運動と盲人の組織化 足立洋一郎 田中正浩への静岡からの書簡―河井重藏と大村和吉郎の書簡

河井重藏, 弥八研究会編

陸軍第一農耕勤務隊(静岡県配置)の朝鮮人兵士

竹内 康人

◆静岡県近代史研究会会報

〒422-8526静岡市駿河区谷田52-1 静岡県立大学国際関係学部 森山優研究室 年4000円 https://shizuokakenkindaishi.wordpress.com

♦ 530 2022.11 A4 6p

11月例会レジュメ 掛川市内における転出者所蔵史料の調査と大字誌 編さんの実践一掛川市中熊切家文書調査と掛川市千浜『千浜東部区

誌』編さん 岡村 龍男

2022年度静岡県近代史研究会総会報告

橋本 誠一

リポジトリの復活再開を望む一加藤善夫氏の問題提起に対し

清水 実

◆静岡県民俗学会会報

〒424-0053静岡市清水区渋川1-9-35 http://web.thn.jp/s-folklore/

♦185 2022.11 A4 4p

調査報告 上小杉八幡宮の流鏑馬と神相撲

川口 円子

飛岡 秀樹

令和4年度 第1回例会報告

 $(\Box \Box \Box)$

静岡の民俗語彙・方言短信 ドウジ/ヒデゴザ

報告者・外立ますみ

静岡県内の民俗関係情報 静岡県 静岡県内の無形民俗文化財動画その2/「風流踊」がユネスコ無形文化遺産登録の勧告を受けました。

愛 知 県

◆あつた 熱田神宮宮庁

〒456-8585名古屋市熱田区神宮1-1-1 TEL052-671-4151

https://www.atsutajingu.or.jp

♦276 2022.11 A5 40p

神宮大麻全国頒布百五十周年にあたり

一神宮大麻の歴史 小針 孝裕

安全・安心な正参道の修景・剪定整備の考え方(2) 原野 幹義

熱田社大工頭「岡部又右衛門」研究余録 細谷 公大

熱田神宮御礼遇に関する一考察(1)

◆岩瀬文庫だより 西尾市岩瀬文庫

〒445-084西尾市亀沢町480 TEL0563-56-2459 2004年創刊

https://iwasebunko.jp

♦ 74 2022.9 A4 4p

愛知県美術館・愛知県陶磁美術館共催 移動美術館2022「もじもえも

じも | / 次回予告 企画展「古城一失われた城の記憶 |

3年ぶりのリアル開催! 第17回にしお本まつり

蔵書紹介 『文字絵指南』(108-85)

杉浦家住宅主屋と書院が登録文化財に!/一色学びの館企画展「旧石器・縄文時代の西尾|

◆郷土文化 名古屋郷土文化会

〒466-0064名古屋市昭和区鶴舞1-1-155 名古屋市鶴舞中央図書館 TEL052-741-9822 年3000円 1946年創刊

◇238 (77-1) 2022.9 A5 100p 1500円

桶狭間合戦での家康の行動 太田 輝夫 横井也有の逸文一「淳貞院聞書」 松井 雅文 服部 仁 『新板尾陽名所飛廻双六』をめぐって 野田雅子/飯塚恵理人 安城市本語寺報恩講料理の再現 碧南市所蔵「旧棚尾普大寺関係文書」について 飯塚恵理人 稲葉騒動と当時の地域社会(上) 猿渡 伸司 巨匠加藤唐九郎を瀬戸警察署長 澤柳倫太郎 愛知の俳句(1) 大野 哲夫 第63回研究会発表要旨

東海地方のダシ祭り 名古屋などの山車調査から 鬼頭 秀明 令和4年度名古屋郷土文化会理事会報告 事務局

◆まつり通信 まつり同好会

〒458-0006名古屋市緑区細口3-161 田中青樹方 TRL052-877-3497 年5000円 1961年創刊 http://www.wa.commufa.jp/matsuri/

◇622 (62-6) 2022.11 A4 8p 600円

表紙写真の言葉 京都真如堂鉦講

京都市左京区浄土真如町 真正極楽寺 11月5~15日 坂本 要 福島・相馬野馬追 石川 博司 南西諸島の輪踊り(サークルダンシング)(4)―沖縄本島(1) 坂本 要

三重県

◆織豊期研究 織豊期研究会

〒514-8507津市栗真町屋町1577 三重大学教育学部 日本史研究室内 Tel.059-231-9218 年1500円 1999年創刊

◇24 2022.10 B5 94p

豊臣政権成立期の織田信雄とその家臣―滝川雄利文書の検討を中心に

西尾 大樹 豊臣政権一北陸大名の軌跡-木村一を中心に 佐藤 圭 「秀次事件」ノート 徹也 谷 林原美術館所蔵石谷家文書の調査・研究について 一石谷親子宛近衛前久書状の若干の考察を添えて 内池 英樹 史料紹介 水無瀬家蔵「将棊馬日記| 藤田 恒春 書評 中井均著『秀吉と家臣団の城』 高田 徹

滋智県

◆彦根城博物館だより

〒522-0061 彦根市金亀町1-1 TELO749-22-6100 1988年創刊 http://www.hikone-castle-museum.jp

♦139 2022.12 A4 4p

テーマ展 彦根藩の年中行事 彦根城表御殿正月御礼式図 当館蔵 展示案内 テーマ展 展示室1 彦根藩の年中行事、特別公開 展示 室6 雛と雛道具、テーマ展 展示室1 大名の装い一井伊家伝来 装束を中心に

研究余録 金亀玉鶴 足軽の願書に見る足軽の苦悩

北野 智也

楊 桂香

京都府

◆黄檗文華 黄檗山万福寺文華殿

〒611-0011京都府宇治市五ヶ庄三番割34 1町0774-33-1199 1973年創刊

♦141 2022.8 B5 234p

《宗祖隠元禅師350年大遠諱記念誌合併号》

宗相隠元禅師350年大遠諱記念誌刊行に際して 祈藤 博道 黄檗山と池大雅 佐々木丞平 黄檗と日本の書 島谷 弘幸 隠元禅師の足跡を訪ねて 原田 博二 黄檗宗寺院の境致と池大雅 出光佐千子 道義撑持、東西互照一隠元禅師を記念する 林 觀潮 隠元降琦禅師の偉大なる行跡とレガシーを記念して 呉 疆 黄檗山萬福寺に隠されている隠元禅師東渡の真意を探る試論―祝聖道

場、龍目井及び明陳賢筆 列祖図冊等の紹介を踏まえて

隠元及び黄檗宗研究の機縁 楊 慶慶 「唐僧隠元の将軍に拝謁」と「明暦の大火」 小林 良幸 「黄檗寺院志考」〜記念誌によせて 石渡 吉彦 黄檗派の展開と宗教インパクト 松原 典明 未来永劫ではない大名墓の護持 秋元 茂陽 真言寺院の黄檗派関係文献 山﨑 淳 江湖漂白の記 森 慈尋 鉄眼禅師による大蔵経の出版 松永 知海 将来の文華殿 錦織 亮介

のまれとピット	-1.1. _1.	1.
世の平和を祈る人一隠元書「萬国の春」	若木	太一
大潮元皓と売茶翁	高橋	博巳
近世大坂の文人と黄檗文化	有坂	道子
「仏工兵部」とは何者か一松隠堂釈迦如来立像について	楠井	隆志
滋賀・福寿寺釈迦如来坐像について	桑野	梓
黄檗美術のひろがり	藤元	裕二
東アジアにおける鳳凰図像の変遷	藤元	晶子
黄檗東林梅嶺禅師の人材育成と地域文化創生(伊勢多気相可	「) 渡邉	正裕
宝珠を持つ阿弥陀如来像一正瑞寺の紙本墨摺阿弥陀如来像	佐々フ	木 進
黄檗僧・海眼浄光としての鶴亭の絵画と交友	石沢	俊
鐡牛道機の三つの大願~黄檗草創期の事業	尾暮る	まゆみ
了翁さんの世界	高橋	三男
黄檗三筆と独立	山村	猛
費隠の字姿	劉	作勝
法堂の建造物修理事業について	竹下	弘展
ヒマラヤ、そしてネパール	薬師	義美
ライフワークと語りつつ感謝を込めて黄檗山の皆様へ	野川	博之
隠元禅師と寒天	湯澤	正芳
黄檗尼僧史研究の展望―近衛家香華所・一様院を中心に	仲田	侑加
黄檗僧尾崎晩成による『明教新誌』への寄稿文「授戒策進」	田中	智誠
隠元禅師と自平石について	林	觀潮
隠元禅師研究の未来	呉	疆
黄檗寺院旧蔵、現蔵の照山元瑶筆「後水尾法皇像」	中村	玲
松仙院蘭室性温夫人について		
~萬福寺開山塔院「松隠堂」建立の意義と役割	乾	貴子
近世黄檗宗の尼寺と尼僧に関する一考察		
一洛北白毫山一様庵を題材にして	仲田	侑加
『津送須知』における黄檗宗の葬送儀礼一済洞両宗との比較	を入れて 楊	慶慶
達磨の面影 隠元の東渡の動機及びその意義について	賈	光佐
肥前鹿島藩主鍋島家の墓碑考察(3)	秋元	茂陽
普茶源流考	野川	博之
	慶/賈光佐/田□	中智誠

◆芸能史研究 芸能史研究会

〒602-0855京都市上京区河原町荒神口下ル上生洲町221 キトウビル303 15L075-251-2371 年6000円 1963年創刊 http://www5b.biglobe.ne.jp/~geinoshi/ **◇238** 2022.7 B5 52p 1800円

天和の疫病流行を背景にした京都の浄瑠璃

―加賀掾正本『京わらんべ』を中心に 林 久美子 私と研究史 阪口 弘之

書 評

井戸美里著『戦国期風俗図の文化史―吉川・毛利氏と「月次風俗図

屏風 || 山路 興浩

埋忠美沙著『江戸の黙阿弥 善人を描く』

寺田 詩麻

紹介

『竹田聴洲フィルム資料デジタル化事業中間報告書 デジタル版

竹田聴洲が残した昭和の京都』

(侘助)

令和3年度越前町織田文化歴史館開館20周年企画展覧会『織田信長

が愛した幸若舞一桃井雄三家所蔵文書を中心に

(須)

『上杉家伝来能面・能装束一語りはじめた面袋』

(王)

例会発表要旨

日本赤十字社と演劇・藝能 2022年3月例会 日置 貴之 享保期江戸の曽我狂言上演史 2022年4月例会 廣瀬千紗子

もうひとつの新演劇―新俳優山口定雄の肖像 2022年5月例会 後藤 隆基

◆史迹と美術 史迹美術同攷会

〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入西大路町146 中西ビル内 Tel075-462-4292 年8000円 1930年創刊 https://www.shibikai1930.com ◇**929** (92-9) 2022.11 A5 32p 918円

京都検定を検定する(5) 二条城縄張りと方位磁石

加藤 繁生

画論研究(3) 『画筌』の研究―現代語訳付(6)

寺本 健三

高野山子継峠発見の永正九年地蔵石仏について 第1099回 萬願寺から多田神社を歩いて訪ねる

木下 浩良 高橋 浩行

◆立命館大学国際平和ミュージアムだより

〒603-8577京都市北区等持院北町56-1 TELO75-465-8151 1993年創刊 https://www.ritsumeikan-wp-museum.jp

♦88 (30-2) 2022.10 A4 4p

2023年9月国際平和ミュージアムリニューアルオープン!

ボランティアガイドコラム リニューアルに期待!

山中 偉史

学生スタッフ 活動記録 リニューアルワークショップ編 チョン・スミン 平和教育研究センター主催「国際法の立場から見るウクライナをめぐ

る問題についての Web 討論会」実施報告/平和教育研究センター 主催「国際政治の視点から見るウクライナをめぐる問題についての Web 討論会」実施報告

遊心雑記 「花だより」に導かれて

安斎 育郎

大 阪 府

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報

「山直神社」由緒書を巡る三つの迷宮一山直郷内畑村の行方(1) 池田 雅治 史料紹介 山本家文書 明治37年の家督相続(前) 井田 寿邦 「十河一存一族「十河左介」盛重の動向」の補足 嶋中 佳輝

中料紹介 泉州の寺社(17) 藤田家文書 九社明神之定式(3)

◆大阪歴史懇談会会報

〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2 アンティークショップ一兵内 Tel.06-6931-1081 年5000円 1984年創刊 http://osakarekikon.cocolog-niftv.com

♦455 (39-9) 2022.9 B5 8p

巻頭言 神のおやしろのこと(75) 枚岡神社(2)

和久 敦也

令和4年8月例会報告(第417回) 『京都市? 伏見』

大阪歴史懇談会理事 和久敦也氏

(報告・磯崎)

会員の書評 『美の脇役』

評者・井川光正

ブック・インフォメーション 特集・歴史図書案内 『正岡子規 言葉と生きる』(岩波新書) 坪内稔典、『正岡子規伝』―わが心世にしのこらば― 復本一郎、『子規の宇宙』(角川選書) 長谷川櫂、『正岡子規』(新潮文庫) ドナルド・キーン

♦456 (39-10) 2022.10 B5 8p

巻頭言 神のおやしろのこと(76) 大鳥神社(大鳥大社)

和久 敦也

令和4年9月例会報告(第418回) 『坂本龍馬と日本最後の仇討ち』

大阪歴史懇談会理事 白須一信氏

(報告・寺井)

会員の書評 口語訳『古事記』[完全版] (三浦祐之 文藝春秋社)

評者・井川光正

ブック・インフォメーション 特集・歴史図書案内 『藤原鎌足』 梅原猛・杉山二郎・田辺昭三著、『豊璋』―藤原鎌足の正体― 関裕二、『藤原鎌足、時空をかける』―変身と再生の日本史― 黒田智、『藤

原鎌足とその時代』一大化改新をめぐって 青木和夫・田辺昭三

◆近畿文化 近畿文化会

〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13 上本町YUFURA 7階

Tel06-6775-3686 年2200円 https://www.kintetsu-g-hd.co.jp/culture/bunka/

◇876 2022.11 A4 10p 300円

世界遺産 古市古墳群に学ぶ一古墳を知れば歴史がみえる 森本 徹

復元された牽牛子塚古墳の立地と石槨 来村多加史

聖武天皇の生涯・治世 鷺森 浩幸

◇877 2022.12 A4 8p 300円

湖東三山の仏教建築―西明寺・金剛輪寺・百済寺をめぐる 冨島 義幸

初期平安京の山陵と葬送地の成立 網 伸也

◆古代史の海 「古代史の海 | の会

〒573-0084枚方市香里ヶ丘6-4-9 上遠野浩一方 年4000円 1995年創刊 http://kodaishinoumi.sakura.ne.ip/kodaishi/

◇108 2022.11 A5 64p 1500円

巻頭言古代社会の残滓河越尚司白鳳期の紀伊国造寺西貞弘日出処天子の意味三浦啓伯

小休止・会員広場

陶邑の爾木多 渡部 正路

アンデス通信(61) 「様式」概念について考えること 市木 尚利

新刊紹介 中村修『乙訓の原像・続々編』(志学社刊) 上遠野浩一

安羅の起源 渡部 正路

戊子年銘釈迦三尊像の制作年代についての一考察 山下 輝幸

狭山池・古市大溝・丹比大溝・河合大溝―記録されなかった大開発 上遠野浩一

◆城だより 日本古城友の会

〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28 平川大輔方 1至106-6652-4511

http://www.kojyo-tomonokai.com

♦646 2022.10 B5 26p

丹波 八上城を訪ねる(11月・第709回例会) 今回の見どころ

9月・第707回例会の報告

播磨赤穂城 担当幹事:石田泰信・木下修二 報告・木下修二

8月・第706回例会・研究発表会(午後の部)

担当幹事:平川大輔·森田又一

演題 [『丹波園部城 陣屋と城郭 違いの線引きは? |

発表者: 当会幹事 相木隆氏 報告·平川大輔

演題Ⅱ 『伊豆半島西部の近世石丁場と採石事業』 発表者: 当会会

員 矢野定治郎氏 (奈良大学大学院博士前期課程) 報告・森田又一 古代山城の「ホロソ石」の件 石田 泰信

別冊(B4 6頁) 第708回例会 山城 如意ヶ嶽城を訪ねる

担当幹事:下岡力·高菅純子

♦647 2022.11 B5 26p

近江田中城・大溝城を訪ねる(12月・第710回例会) 今回の見どころ

10月·第708回例会報告

山城中尾城・如意ヶ嶽城 担当幹事:下岡力・高菅純子 報告・下岡力 会員通信 福井県の戌山城を訪ねて 坂本 昇 別冊(B4 5頁) 第709回例会 丹波八上城を訪ねる 担当幹事:小

川実・下岡力

◆つどい 豊中歴史同好会

〒560-0054豊中市桜の町4-6-27-208 小川滋方 月1000円 1988年創刊 http://tovoreki.wav-niftv.com

♦410 2022.11 B5 16p

大碓命と美濃―記紀伝承の信憑性をめぐって(上) 長岡京と向日丘陵の古墳を訪ねる(下)

荊木 美行 村瀬美和子

◆ヒストリア 大阪歴史学会

〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学大学院人文学研究科 古市晃研究室気付 1951年創刊 http://www.historia-osaka.on.arena.ne.jp **◇294** 2022.10 A5 71p 900円

史資料紹介 元萩藩大坂船頭正木家所蔵川御座船図の紹介 水谷 友紀 地域の歴史を守り伝える 栗東歴史民俗博物館市民学芸員の会の活動

大西 稔子

書 評

 曽我部愛著『中世王家の政治と構造』
 佐伯 智広

 櫻澤誠著『沖縄観光産業の近現代史』
 平山 昇

報告

二○二二年度宮内庁書陵部との懇談 研究集会「戦国・織豊期権力論と城郭研究」 谷口 正樹

真野 信治

兵 庫 県

◆家系研究 家系研究協議会

〒675-0101加古川市平岡町新在家1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921 年5000円 1981年創刊 http://www.geocities.jp/kakenkyou/

◇74 2022.11 B5 126p 1500円

伊予の越智氏・河野氏の祖系と同族(下) 宝賀 寿男

古書に見える珍姓・難読姓(6) 安原 繁利

平良文の出自とその系譜(1)

先祖調べは大人の総合学習(4)

ーネットで先祖調べ 次世代デジタルライブラリーの利用 野口 裕子

延喜式からみえてくる野菜との関わりについて

一山祇族・海神族の食文化か 斎藤 秀幸

岸和田氏 岡田 有史

続紀姓平山氏考 平山 旦清

薩摩刀匠 浪平正国一千年秘話 刀鍛冶の里(12-2) 浪平 博司

表紙家紋「丸に帆掛け船 | 馬原 浩一

◆家系研究協議会会報

〒675-0101加古川市平岡町新在家1745-203 馬原浩一方 Tel079-424-0921 年5000円 2002年創刊 http://kakenkyou.g2.xrea.com

♦82 2022.11 B5 8p

家系研究協議会の例会再開について 馬原 浩一

家系研究小ネタ特集(8) 和田の乱とその周辺 (馬原)

書評 『陰謀の日本中世史』呉座勇一著 角川選書 2018年 (馬原)

◆摂播歴史研究 摂播歴史研究会

〒676-0004高砂市荒井町千鳥2-23-12 1至1079-442-0658 1986年創刊

♦89 2022.11 B5 6p

「琴ノ浦」について 谷山 由夫

八幡神社の境内割譲と荒井病院の建設 廣瀬 明正

◆西宮文化協会会報

〒662-0974西宮市社家町1-17 西宮神社内 TEL0798-33-0321 http://nishinomiya-ebisu.com/bunkyo/

♦656 2022.11 B5 8p

十二月行事 堀内ゑびすコレクション展 見学会/会員懇親忘年会

浮世絵版画―西宮の風景あれこれ(11)

兵庫県朝来市 生野銀山

布広 良雄

谷崎潤一郎旧邸「鎖瀾閣」を未来に残すために

たつみ都志

西宮・伝統芸能の夕べ一文楽『釣女』一を終えて

森村 曉子

西宮文化協会九月行事 美術作家 松谷武判先生、大いに語る

江嵜健一郎

会員活動報告 伝統文化を護持・枚岡神社『お笑い神事』 中村宏/山本純子

◆東播磨 地域史論集 東播磨地域史懇話会

〒675-1224加古川市平荘町上原298-1 山本祐作方 TeL079-428-1055 1994年創刊

◇28 2022.8 A4 57p

報恩寺所蔵大般若波羅多経の周辺

藤原良夫/岡本一士/山本祐作/森下大輔/安平勝利

加古川市平荘町報恩寺の殺生禁断

中村 和男

東播磨のため池と伝説(5)—才の池と雨乞い(加古川市横田町) 出版案内 森本 眞一

『西条古墳群』一兵庫県加古川市神野団地造成に伴う埋蔵文化財発掘 調査(1963~1964)の成果 2022年3月 東播磨地域史懇話会考古 部会

『播磨国加古郡下西条村 大西二男氏文書資料集』 2022年5月 東播磨地域史懇話会古文書部会

和歌山県

◆国際熊野学会会報

〒647-0011新宮市下本町2-2-1 新宮市教育委員会文化振興課 18L0735-23-3368 年3000円 2005年創刊

♦38 2022.10 A4 4p

伊勢の「御師」廃止と「神楽」のゆくえ

櫻井 治男

事業の中止(重要なお知らせ) 合同例会「奥三河『花祭』の世界」

島根県

◆大社の史話 大社史話会

〒699-0751出雲市大社町杵築西2695-1 稲根克也方 1610853-53-4966

年2500円 1974年創刊

◇212 2022.9 B5 40p

ミニ特集 出雲大社の野鳥保護活動

出雲大社の「浄の池」での十年間

大社國學館とツバメ保護活動

出雲地域の歴史と文化(20)

土豪三木氏と近世初期の村

出雲大社造営文書を読む(3)

近世の石見と杵築大社(下)

コラム 江戸後期における出雲大社参詣の三形態

誌上「古文書講座」基礎編(2)

多久田友秀

中野 順治

大社國學館

岡 宏三

斎藤 一 山﨑 裕二

出雲市文化課

出雲弥生の森博物館 冬季企画展「鉄と船でたどる出雲一古文書をひ

もとく」

出雲弥生の森博物館(文責・永川ひかる)

企画展「出雲と吉備」

島根県立古代出雲歴史博物館(勝部智明)

令和4(2022)年4月~6月 出雲市大社町年表

編集部

◆Deer NEWS 島根県立八雲立つ風土記の丘ニュースレター 〒690-0033松江市大庭町456 TEL0852-23-2485

https://yakumotatu-fudokinooka.jp

◇28 2022.4 A4 4p

展示のご案内 企画展「収蔵品展」/企画展「文字が語る古代出雲」/ 第46回ガイダンス山代の郷ロビー展「ポスターで振り返る風土記の 丘の50年」

学芸員のイチオシ! 展示資料・収蔵資料(28)

渋山池 1 号穴出土陶棺

風土記植物園の見どころ ナルコユリ/風土記の丘の遺跡を訪ねる 第40回 山代郷南新造院瓦窯跡(県指定)

岡山県

◆宇喜多家史談会会報

〒700-0826岡山市北区磨屋町6-28 光珍寺内 1至086-222-2028 年2000円

2002年創刊

♦84 2022.10 A4 10p

「宇喜多騒動」に関しての地理的考察 小川 博毅 中西 厚 亀山城跡周辺の戦国時代の逸文(2) 悲運の武将・宇喜多秀家(7) 島津家の温情の許で隠遁 内藤 勝輔 山重十五郎

物語直家記伝 亀山城 第54回 起承(1)

◆岡山民俗学会会報

〒700-0089岡山市北区津島本町16-5-3 小嶋博巳方 年4000円 http://okayamaminzokugakkai.web.fc2.com

♦ 229 2022.11 B5 12p

二つの協力隊を「文化」でつなぐ一パナマと真鍋島から 武井 優薫 「小魚の食習慣 | 研究の試み 今田 節子

研究会発表要旨 六月例会

地域文化の伝承と伝播

一高知県香南市赤岡町における「絵金」の事例より 永原 順子 スペインのサンティアゴ巡礼とツーリズム(観光) 畠中 昌教

岡山民俗学会·御影史学研究会合同発表会

伊予国福見山の法道仙人と「播磨塚」 嶺岡 美見 備前・備中における報恩大師伝承の浸透 平松 典晃 長崎県の生月島の河童石と積み石 藤原喜美子

毘沙門天の来る正月

一中国地方の正月三日の毘沙門天授福行事をめぐる予備的考察 小嶋 博巳 新刊紹介 立石憲利・美作市の民話調査編集実行委員会編『美作市の

民話 | 、立石憲利・山田敬子編著『志々島の妖怪―香川県三豊市 | (KH)

広島県

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会

〒720-0824福山市多治米町5-19-8 TEL084-953-6157 http://bingo-history.net **♦ 226** 2022.11 A4 16p

備後国衆列伝(14) 三谷郡の柚谷氏

田口 義之

ワンショット・レポート―徒歩例会・栗柄史跡めぐり

調査報告 中世石造物の調査報告

研究レポート

福山城北西防御の池を考える一その構造と役割

瀬良 泰三

手城島城について

中世史部会

近世福山の歴史講座(42)

第五部 水野時代総集編―その三―二代勝俊(旧名勝重)の時代 髙木 康彦 史料紹介 井上家文書(4)「宮後新溝一件」 文責・小林悠一 読者ノート 吉津平居士と室竹 戸田 降啓

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会

〒723-0051三原市宮浦6-9-32 鈴木方 年3600円 110848-63-9932

♦380 2022.11 B5 12p

今月の各地 三原市在住 古谷巌 シベリア残影展を終えて 田野浦/友宗邦夫 今川了俊「道ゆきぶり」を科学する 西村 雅幸

本町いろは歴史講座 講師 橋本敬一先生『西国街道』(3) 事務局 消えた遺跡「正家の井戸」(完結編) 大谷 和弘

♦381 2022 12 B5 12p

下西 勝彦 今月の各地 広島の酒、全国6位、万歳!

本町いろは歴史講座 講師 橋本敬一先生『西国街道』(完結編) 事務局 児童を中心に巡る「お殿様のお散歩体験 | 二つの例の報告

その一 本町コース/その二 三原城内・東町コース

事務局 歩いて学んだ三原の歴史 小森谷果歩(6年)

おとの様のお散歩体験 村上ユズキ(4年)

神社巡り 浅野実桜(6年)

感想文集

山口県

◆山口県地方史研究 山口県地方史学会

〒753-0083山口市後河原150-1 山口県文書館内 Tm.083-924-2116 1954年創刊 http://www.vsflh.jp

♦ 127 2022.6 A5 128p

石見国の種痘接種と萩藩 石川 敦彦

長州毛利家の家臣と浪士たち一文久・元治期を中心に 熊野 一就

長州藩元治の内乱への道 相島 宏美

明治19年のコレラ病流行下での自助・共助

一山口県大津郡の事例について 木京 睦人 海図「長門海峡」(明治19年8月刊行) について 河村 克典

小野田セメントの持続的成長と経営者の役割

一戦前期のトップ・マネジメントを中心として 畠中 茂朗 歴史と現代 観光交流イベント「まわるわ―旧山口電信局舎からはじまる まわる・つくる・まわるー」の開催について 丸本 華代 調査と探求

海からの贈り物一釣りあげられた燈明皿からのメッセージ 日高栄美子 第133回山口県地方史研究大会 誌上討論 北川健「琳聖太子母后伝 説の後世運用と本来像一朝鮮交易に先行する大内氏領国伝説の展開

山口県地方史学会事務局

地方だより 大島地区/岩国・玖珂地区/熊毛地区/光地区/下松地区/防府地区/山口地区/宇部地区/美祢地区/山陽小野田地区/

下関地区/長門地区/萩地区

2022年4月~2023年3月 山口県内博物館等展示ガイド

発表要旨 第135回研究大会

状況——

国史大辞典の「りんせい | 表名論の死角-九州・山口の琳聖太子伝

説事象の甲乙パラダイム 北川 健 公文書とモノから読み解く灯台建設 高月 鈴世 安政五年の長州毛利家一戊午の密勅を中心に 宮崎 航平 明治維新と広沢真臣 下田 悠真

♦128 2022.10 A5 122p

平安期における周防国の地域有力者と国衙機構

一任用国司としての関わり 144 渡辺 萩藩毛利家における乳母と子女教育 石田 俊 榎本源之准御咎一件―日本初の女体解剖献体者に関する史料 伊藤 一晴 薩長盟約に関する一試論―慶応元年における三条実美を中心に 誠 赤井 明治維新と広沢真臣 下田 悠真 安政期における大楽源太郎 宮崎 航平 稲益あゆみ 史料紹介 旧秋田商会ビルと秋田家関係資料 歴史と現代 吉田松陰のコレラ予防法に関する史料の補足と訂正 道迫 真吾 歴史散歩 お大師様のお接待―才川・王司地区より 日高 千品

地方だより 大島地区/岩国・玖珂地区/熊毛地区/周南地区/山口地区/美祢地区/山陽小野田地区/長門地区

愛 媛 県

◆伊予史談 伊予史談会

〒790-0007松山市堀之内 愛媛県立図書館内 1915年創刊

◇407 2022.10 A5 51p 750円

特集 鎌倉殿と伊予

特集にあたって編集委員会

河野氏の鎌倉進出と在京奉公 久葉 裕可

鎌倉殿と伊予の御家人―忽那氏の大番殿を中心に 萬井 良大

伊予に残された鎌倉殿発給文書 山内 譲

斉明天皇と「干娜大津 |-『釈日本紀』のかなり無理な解釈とその理由

岡田 利文

新刊紹介 富長泰行著『農村協同組合医療の源流 愛媛県の産業組合 医療』、宮本春樹著『築二六〇年を越えて 旧庄屋毛利家保存の歩 み』、寺内浩著『藤原純友』、愛媛県歴史文化博物館編『研究紀要』 第二七号

郷土その日その日 自令和4年4月至令和4年6月

編集部(柚山俊夫)

例会記事 第1274回 永納山城跡―近年の発掘調査と整備の最新状況 渡邊芳貴氏、享和二年 国境を越える山村農民の逃散―徳島藩領三 好郡と今治藩領宇摩郡 村上憲市氏/第1275回 自転車からみた愛媛・松山市のスポーツ史 山中亮氏、文化財レスキューの一例―近世甲冑の救出・修理・保存 友澤明氏/第1276回 昭和20年8月9日 の松山基地空襲 竹中義顕氏、愛媛の防空監視哨4―大東亜戦争における民間防空の一様相 多田仁氏

福岡県

◆九州史学 九州史学研究会

〒819-0395福岡市西区元岡744 イーストー号館 九州大学文学部日本史学研 究室内 Tel092-802-5098 1956年創刊

https://www2.lit.kyushu-u.ac.jp/~his_jap/kyushusigaku/

♦192 2022.9 B5 94p

南北朝期長門国における厚東氏と室町幕府

境 春海

頼春水の世子教育思想の検討―「いしつゑ」をテキストとして 初代藩主鍋島勝茂の菩提寺創設の意義―佐賀藩を素材として 伊藤 大輔 田中由利子

書 評

伊藤幸司著『中世の博多とアジア』―港市博多と博多禅研究の到達点

水野 哲雄

大庭康時著『博多の考古学―中世の貿易都市を掘る』

山内 晋次

中世史部会の活動報告

文責・松尾

文責·井手 文責·野島

佐 賀 県

◆末盧国 松浦史談会

〒847-0823唐津市旭が丘6-5 1㎡0955-73-3549 年2000円 1962年創刊

♦231 2022.9 B5 20p

「唐津の近世文書教室」 史料紹介 『田代文書』1-39

濱口 尚美

史料で読み解く 「役要集」について

山田 洋

国人領主としての肥前鶴田家終焉の経緯並びに 終焉に伴い筑前博多

方面へ移住した一部鶴田氏についての考察

山口 浩

唐津・発掘・発見の話(19)

加部島の古墳の出土遺物及び佐藤の業績について

徳富 則久

考古学における地方史研究の成果

五、時代の証(5) 火山噴出物 6

田島 龍太

「芳谷炭坑跡遺構」の推薦産業遺産認定に寄せて

松浦史談会事務局

書籍紹介 『馬渡島における社会と文化の変容』 渡邊秀一著 2022・

8月31日発行 私家版(非売品)

長崎県

◆浜木綿 五島文化協会

〒853-0052五島市松山町604-10 筑田俊夫方 TELO559-74-2667

♦114 2022.11 A5 148p

巻頭 「大陸との懸け橋」シンポジウム 海洋面からみる五島列島

「マリアの夢」一九七二年三月 酒屋町春秋(2)一のすたるじあ「春の船溜り」 石田ちとえ 髙橋 恆晴

石田城「城に隠された繁栄の謎」(1)

増田 常徳

「日の丸」に思う

烏山 武臣 大坪 昇平

戦争と暴力の輪郭

巨海 玄道

五島灘を渡った雲水の旅路(2) 一流浪の研究者への道 京の片隅で(9)

伴 靖子

第二の故郷・佐世保を発つ

上田 浩三

熊本七本官軍墓地に眠る二人の郷土兵士

中村千代治 内海 紀雄

思い出すことなど(4)

宮崎県

◆石の証言 「八紘一宇」の塔を考える会

〒880-0026宮崎市波島2-30-2 佐藤文則方 年2000円 1995年創刊

♦109 2022.10 A4 14p

石の証言 武昌小松 兵站司令部(武昌蛇山公園)

秋丸機関 秋丸次朗大佐のこと

税田啓一郎

沖縄戦と「八紘一宇」の塔(2)

野崎 真公

沖縄に寄せて

佐川 嘉正

考える会の活動報告 7月24日(日)の午後、宮崎大学関周一先生の講座「宮崎の近代と戦争」の受講生を塔案内/アーティスト、映画監督小松隆英さんとの懇談 7月28日午前/8月6日(土)の午前、「ママたちのお結び会」を塔案内 座談会~平和台で平和の核心を学ぶ/8月9日(火)の午後、「放課後ディサービス学遊館ジュニア」のみなさんを塔案内

寄稿論文 戦時経済下の日本と今後

山崎 亮

『帝国日本のプロパガンダ』「戦争熱」を煽った宣伝と報道(中公新書)

2022/6/21 著者·貴志俊彦

税田啓一郎

「安倍元首相の国葬反対」決議を岸田首相送付

黒木 利忠

"市民連合みやざき"の呼びかけで「安倍国葬の反対 | 集会とウォーク

沖縄県

◆宮古郷十史研究会会報

〒906-0013平良市下里1223-8 下地和宏気付 Tell 0980-72-9963 年3000円 1977年創刊 https://kyodoshiken.ti-da.net

♦ 253 2022.11 B5 8p

10月定例会レジメ

「宮古島市最大の集落遺跡 住屋遺跡」展示説明会

久貝 弥嗣

11月定例会レジメ 令和三年度 友利元島遺跡発掘調査報告

久貝 春福

9月定例会のまとめ 「あなたの知らないサシバの世界」

與那覇史香

10月定例会のまとめ 「島尻のパーントゥプナハ研究の展開」

湯屋 秀捷

総合文化祭 史跡巡り(平良コース) 企画《復帰50年と私》「この国の真の独立のために」 沖縄1972:団塊ヤマトは既に沈没していた サシバ飛来数調査50回記念講演会 宮沢盛次・貞子「支え合って六十年」 久貝 春福 仲宗根將二 大西 威人 森谷 大介 仲宗根將二

寄贈図書紹介

◆2022年度一般社団法人日本民俗建築学会誌上シンポジウム 津軽地方における建物の諸相一津軽の冬を通して住まいを考える 日本民俗建築学会編・刊(〒162-0834 東京都新宿区北町18)2022年10月 A4 19頁 実行委員:木村高・澤口正光・白木一生・鈴木徹 青森県黒石市にて開催予定だったものの新型コロナの影響で中止となった日本民 俗建築学会シンポジウムの報告集。基調講演 「津軽七雪」の風土にあずましく 暮らす(月舘敏栄/パネリスト報告 津軽地方における住宅の遍歴とこれからの 家づくり一昭和40年代以降の耐雪・耐寒の工夫(岡田俊治)/パネリスト報告 津 軽の冬の暮らしと火の民俗(山田嚴子)/パネリスト報告 豪雪地帯における商家 町のこみせ一黒石市中町こみせ通りを中心として(鈴木徹)

◆長久保赤水顕彰会創立30周年記念誌 江戸時代後期の巨星 長久保赤水 長久保片雲(源蔵)編著 長久保赤水顕彰会(〒318-0103 茨城県高萩市大能341 佐川春久 Tel0293-28-0405) 2022年11月 B5 197頁 1100円 長久保赤水顕彰会創立30周年記念誌『江戸時代後期の巨星 長久保赤水』発刊に 寄せて(茨城県知事 大井川和彦)、長久保赤水顕彰会創立30周年記念誌『江戸時 代後期の巨星 長久保赤水 のご出版おめでとうございます(高萩市長 大部勝 規)、偉大な業績を残した長久保赤水研究の良い手引き(長久保赤水顕彰会会長 佐川春久)/はじめに/誕生日、誕生地/生みの親、育ての親(1)~(4)/鈴木玄 淳の塾(1)~(5)/結婚/名越南渓よりの学問への指針(1)~(3)/いわき某寺へ招 かれての講師/田中江南が水戸へやって来た/東奥紀行(1)~(15)/讒言に喘ぐ 赤水(1)~(3)/宝暦年間の悲喜/長崎行役日記(1)~(25)/安南国漂流物語(1)~ (6) /清槎唱和集(1)~(17) / 京都日記(1)~(2) / 百姓が水戸藩郷七へ/今に尾を 引く県民性/『赤水図』からの飛躍/郷士から侍講へ/水戸藩主治保の先生とな る/藩主へ奉呈「農民疾苦」/「農民疾苦」の上書/「農民疾苦」/赤水の門人たち /地理・余技から本業へ/古稀を迎える/赤水宅訪問の誉れ(1)~(2)/子孫・後 輩への教え/あとがき/『江戸時代後期の巨星 長久保赤水』の校正に携わって (廣原朝代)/関係資料編 国内の赤水資料-主な所蔵先、長久保赤水年表(改訂 版6)、道知るべ『續長久保赤水の一生』 感想文の選定結果について

◆長久保赤水顕彰会創立30周年記念

国の重要文化財指定記念誌 長久保赤水資料群

佐川春久編著 長久保赤水顕彰会(同上) 2022年11月 A4 83頁 1100円 ごあいさつ(茨城県知事 大井川和彦、高萩市長 大部勝規、日本地図学会常任 委員会委員長(日大教授) ト部勝彦、国際地図学史学会イマゴ・ムンディ編集協 力委員 海田俊一、長久保赤水顕彰会顧問 長久保片雲(源蔵))/はじめに 赤 水研究の一助に!国の重要文化財指定記念誌『長久保赤水史料群』を発行/いっ たい何者? 江戸時代の地図男! 長久保赤水/『赤水図』の原稿を読み解く/ 中国地図の手書き原稿を読む/マテオ・リッチの6枚図を長久保赤水が1枚図に まとめた世界地図を読む/その他の遺墨などを読む/資料編(赤水没後に出版さ れた改正日本輿地路程全図 3版・4版・5版、改正日本輿地路程全図の序は初 版から第5版まで共通、唐土歴代州郡沿革地図、大清広輿図、地球万国山海輿地 全図、芻蕘談、東奥紀行、長崎行役日記、清槎唱和集、安南国漂流物語・漂流 図)/国の重要文化財 長久保赤水関係資料目録/参考文献等/あとがき/関係 資料編 伊能忠敬よりも四十二年も前に日本地図を作った長久保赤水(茨木の文 化 57.2022)、長久保赤水を語る(東京新聞)、赤水図、学校教育に活用を(茨城 新聞)、地学に名を轟かした水戸藩の長久保赤水の改正日本輿地路程全図(日本地 質学会正会員 石渡明)、「長久保赤水の日食予測についての補足」について(す ばる天文台同好会 川口和彦)

◆文化人大名 大関増業の編著書―黒羽藩十一代藩主の文化遺産

大田原市黒羽芭蕉の館 令和4年度企画展図録

大田原市黒羽芭蕉の館・刊(〒324-0234 栃木県大田原市前田980-1 TeL0287-54-4151)2022年11月 A4 32頁

黒羽芭蕉の館の令和4年度企画展の展示図録。伊予国大洲藩出身で養子として家督を相続、黒羽藩11代藩主に就任した大関増業(1782~1845)による兵学大全『止戈枢要』(文化11年〈1814〉~文政5年〈1822〉)の完成200年を記念して、主要編著書『創垂可継』(71巻、20冊1帖)をはじめとする膨大な編著書を紹介する。カラー図版 ー 『創垂可継』の編纂、二 『日本書紀』の校訂と神道研究、三 兵学大全『止戈枢要』の著述、四 多岐にわたる編著書/資料解説/大関増業の学芸活動・文化財保護措置(新井敦史)/主要参考文献

◆写真は語る―長野市公文書館資料

長野市公文書館編·刊(〒380-0928 長野県長野市若里6-6-2 長野市若里分室内 TEL026-224-0701)2022年11月 B5 54頁

公文書館所蔵資料や『長野市誌』の内容に基づいて長野市域の歴史をわかりやすく記述した『長野市民新聞』の連載「探求ながの史」を再編したブックレット。本書には「写真は語る一長野市公文書館資料」(2014年5月3日~2015年5月30日)

を収録する。116年前若松町に開庁―市政を見守った歴代の長野市庁舎/改修で 発展の基盤に一拡張前の中央通り 市街の狭さに苦しむ/「三幸座」道路に濁流 一明治の湯福川出水 善光寺周辺を襲う/露座の仁王像 故郷へ一明治45年の御 開帳 飯山の仏師が制作/戸隠から上水道敷設―電動巻き上げ機で材料や砂利を 運搬/2尺玉で名をはせる一晩秋の夜空を彩るえびす講 名煙火師/長野駅近く 中御所に一県立工業学校が開校/篠ノ井駅で救護活動-関東大震災により避難者 が乗り継ぎ/橋上に群集が群がる一篠ノ井橋の架橋と渡り初め/野球やスケート 盛ん―上空から撮影 城山公園―帯/プール開き 大勢見物―長野市営水泳場が 山王小西側に完成/上空から模擬弾投下一市民を動員し初の防空演習/渡り初め 見物一万人―両側に歩道つきで丹波島橋竣工/失業対策かねて建設―狐池上松線 (展望道路)/来賓や生徒が壇囲む―市町村あげて戦没者の葬儀/初代は善光寺か ら移転一如是姫像の誕生と変遷/地蔵盆の日まで続く一善光寺境内の盆踊り大会 /商店街も参加し飾る一月遅れの8月に市内で七夕祭り/10ヵ村と新長野市に一 合併祝う児童生徒の旗行列/ネオン輝く街に繁栄―商業の中心・権堂町の成立と 変遷/雲上殿と地附山結ぶ一県下初の営業ロープウェイ/地形生かし城郭型に-大峰山展望台(大峰城)を建築/土砂30万立方メートル流出―松代群発地震で牧内 地区が地滑り/冬季スポーツの拠点に一飯綱高原スキー場開き/堤防決壊や内水 氾濫―台風や豪雨で繰り返し災害

◆公文書館資料が語る 戦後70年

長野市公文書館編·刊(同上)2022年11月 B5 64頁

ブッレット2冊目として、「公文書館資料が語る 戦後70年」(2015年6月13日~ 2016年9月10日)を収録する。昭和恐慌下の市町村民 県から資金借り入れる/満 州事変と地域の動向 役場に召集令状届く/労働農民運動と二・四事件 全県で 検挙が始まる/日中戦争の勃発と国民精神総動員運動 町村長会が政府支持/太 平洋戦争の開始と市町村 徴兵や召集が急増/大政翼賛会と翼賛選挙 官民一体 の挙県運動/満州開拓と市町村民 信濃村建設し移住へ/農業の統制と食糧増産 学徒の労働力を活用/戦時下の市町村民の生活 物資の統制が始まる/警防団 の結成と防空訓練 消防組を解消し発足/出征兵士と犠牲者の増大 戦況が悪化 し続く招集/満蒙開拓青少年義勇軍の送出 現長野市域から604人/松代大本営 の建設と勤労動員 朝鮮人も作業に従事/占領軍の進駐と市町村 宣伝文書や撤 去通達/女性の民主化と婦人参政権の実現 女性が初の国政参加/農地改革と自 作農の誕生 地主から土地を解放/日本国憲法公布・施行と市町村民 記念式典 や行事実施/軍国主義教育から民主教育への転機 「3教科」の授業停止/長野 平和博覧会の開催 科学と産業復興を願う/長野産業文化博覧会の開催 宇宙に もふれる内容/石油危機と市民生活 必需品など物価高騰/地附山地すべり 真 夏の大惨事/中核市の出発と広域連合 県の事務権限を移譲/少子高齢化を迎え

て 「介護保険法」が成立/長野新幹線の開通 平成3年に県内着工/長野道と 上信越道の開通 北信と中南信つなぐ/冬季オリンピックの開催と長野 平成3 年に招致決定/2町4村との合併 自治体の基盤を確立/市民会館の建設 県内 一の大ホール/新第一庁舎と芸術館 複合施設として改築

◆第30回企画展 古絵図の魅力―地図で旅する大山崎

大山崎町歴史資料館編・刊(〒618-0071 京都府乙訓郡大山崎町大山崎竜光3 大山崎ふるさとセンター内 TELO75-952-6288)2022年10月 A4 40頁 大山崎町歴史資料館の令和4年第30回企画展の図録。近世期の絵図を国境、集落、 田畑、天王山、川・水路、幕末・明治と、描く対象ごとに通覧し、大山崎に残る 古絵図の魅力を紹介する。国境を描いた古絵図/集落を描いた古絵図/田畑を描 いた古絵図/天王山を描いた古絵図/川・水路を描いた古絵図/幕末・明治を描 いた古絵図/古絵図の魅力一地図で旅する大山崎(福島克彦)/資料解説/展示品 目録/参考文献

◆聖地霊場の成立についての分野横断的研究 京都府立大学文化遺産叢書25 菱田哲郎編 京都府立大学文学部歴史学科 (〒606-8522 京都市左京区下鴨半木 町1-5 № 1075-703-5271) 2022年9月 A4 322頁

京都府立大学文学部歴史学科による地域の歴史や文化遺産について平成25年度より刊行されている研究成果報告第25集。平成30年度~令和3年度科学研究費補助金(基盤研究B)「聖地・霊場の成立についての分野横断的比較研究」(代表・菱田哲郎)の成果報告書。神社の起源につながる祭場を聖地、山林寺院の草創の場所を霊場として、その形成過程・再興過程を多面的に検討する。

[第 I 部 聖地霊場の成立とその背景] 祭祀遺跡から神社へ一酒造りを鍵として (菱田哲郎)、古墳出土馬具と仏教工芸一竹原市横大道 1 号墳出土馬具の紹介を兼ねて (諫早直人)、片岡四寺考証一片岡王寺・西安寺・尼寺南北廃寺(吉川真司)、園城寺の成立年代(新尺雅弘)、孝明天皇の石清水行幸と六位禰宜森本家の活動一伊予宇和島藩主伊達家との関係から(竹中友里代)、西条市の水に関する信仰と文化(岡島俊也)、岩倉を精神病患者の聖地にしたもの(中村治)、丹後・金剛童子山中の山寺探索(京都府立大学文学部考古学研究室)

[第Ⅱ部 東アジアの聖地霊場] 舎利荘厳具における金銀地金一北魏太和五年石 函の舎利荘厳具から(大平理紗)、文献史料から見る中国の仏教聖水思想(黄盼)、 泰山霊巌寺の成立過程(向井佑介)、新羅神宮神主考─新羅の聖地祭祀の基礎的考 察(井上直樹)

[第Ⅲ部 聖地霊場の展開とその信仰] 龍門寺と仙人信仰(竹内亮)、聖教・史料上の施燈(平松良順)、近世・近代における山城国岩屋山志明院の霊地形成と雲ヶ畑の氏神(東昇)、覚書 拝殿を本殿より先に立てる神社(山岸常人)、洛陽三十三観音霊場の成立・再興とその空間(岸泰子)、「群」としての四国八十八箇所霊場

(上杉和央)、コラム 本科研による聖地霊場巡見報告(1)(2)

◆京丹後市久美浜町太刀宮文書(久美浜代官所郡中代等文書)・左治家資料調査 と御用留留横断研究 京都府立大学文化遺産叢書26

山田洋一·東昇編 京都府立大学文学部歴史学科 (同上) 2022年11月 A4 186 頁

京都府立大学文学部歴史学科研究成果報告第26集。科学研究費「公儀触伝達にみる徳川領国と国持外様領国の両領国体制の存在と構造―幕藩体制構造研究」(研究代表者・山田洋一)の成果報告書。京丹後市久美浜町の神谷神社(太刀宮)が所蔵する太刀宮文書(久美浜代官所郡中代等文書)・左治家資料(『京都府熊野郡誌』編さん関係資料等)の調査と御用留の横断的研究論考を収録する。本書の構成と視点(山田洋一)

[一 太刀宮文書(久美浜代官所郡中代等文書)・左治家資料調査〕 神谷神社について(神谷太刀宮(神谷神社)宮司 左治宣幸)、太刀宮文書・左治家資料調査について(山田洋一)/論考編 〈浦触〉と丹後の浦々(水本邦彦)、補説 丹後国竹野郡中浜村「御用留」の浦触関係記事(水本邦彦)、文明開化と稲葉市郎右衛門(飯塚一幸)、明治初年の久美浜県における郡中代と郡中改革(三浦泰之)、『京都府熊野郡誌』編さんと神谷神社参考館(新谷勝行)、久美浜代官所領中間支配機構の役職について一丹後国五郡惣代・丹後但馬両国惣代を中心に(岡田つかさ)/資料編太刀宮文書(久美浜代官所郡中代等文書) 解題・目録(山田洋一)、左治家資料(『京都府熊野郡誌』編さん関係資料等) 解題・目録(新谷勝行)、久美浜代官所・久美浜県・豊岡県に関わる主な参考文献、京丹後市による展示・セミナーと京都府立丹後緑風高等学校久美浜学舎出前講座の関係資料

[二 御代留横断研究] 御用留横断研究について(山田洋一)/論考編 幕令の伝達一幕府の意志をどう伝えるか(吉田真夫)、新元号の伝わり方一萩藩の場合(山﨑一郎)、山城国旗本天野領における公儀触の伝達(中川博勝)、肥後国天草郡の御用留と庄屋日記一高浜村庄屋上田家文書を中心に(東昇)、丹後国の御用留(稲穂将士)、徳川領国(武蔵国・久美浜代官所領〈丹後・但馬国〉)と国持外様両国(周防・長門国)の公儀触等(山田洋一)

◆赤田光男論集 歴史民俗学の展開

赤田彰子発行(高田照世・杉崎貴英編集) 2022年6月 A5 275頁 私家版 問合せ:帝塚山大学奈良学総合文化研究所(〒631-8501 奈良県奈良市帝塚山7-1-1 1m.0742-48-8842)

2021年7月15日に逝去した赤田光男 帝塚山大学名誉教授の遺稿集『中近世大和の民俗世界』(帝塚山大学奈良学総合文化研究所、2022年3月)刊行後、一周忌に際しご遺族によりまとめられた論集。赤田光男先生との邂逅(野本寛一)/修士論文篇 林下塔頭の研究序説一特に大徳寺・妙心寺に於ける葬祭儀礼の諸問題/遺

構篇 公慶上人の東大寺大仏地殿復興について一『大和国無足人日記』にみる/ 法隆寺の天王寺への出開帳と塔院の復興/法隆寺の居開帳と大野村十輪寺住持の 相続/大和国田原郷の葬送儀礼と先祖祭祀/郷士の家運営と家来の存在形態/無 足人日記にみる世相史と人生儀礼/追悼の記に代えて(伊藤唯眞)/あとがき(赤 田彰子)

◆後記-

「統計法」と聞いてもあまりなじみがないが、第一条(目的)に、公的統計は 「国民にとって合理的な意思決定を行うための基盤となる重要な情報である」と 明記されている。統計は国民のものである。その大切な統計を政府機関や地方自 治体が改竄するなどとはもってのほかである。それどころか、5年に一度実施す る「農林業センサス」の一部である「農業集落調査」の廃止を農水省が検討して いるという(『東京新聞』2022年11月20日 朝刊 20p)。「農業集落調査」とは、 「全ての農林業経営体等を対象に農林業経営体数、農業従事者数、経営耕地面積、 作付面積・家畜の飼養頭数等を調査する農林業経営体調査と、全国の農業集落を 対象に地域住民の活動等を調査する農山村地域調査があります。本調査結果は、 全国、都道府県、市区町村等別に提供しており、国や地方公共団体の農林業施策 や地域活性化の推進に活用されています | (「e-Stat政府統計の総合窓口 |) という ものである。農業集落住民の寄合の回数や議題、行事といったものまで含まれて いる。60年以上の歴史を重ねてきたが、地方農政局の職員減少や個人情報保護で 情報が集まりにくく、実施が困難というのが農水省の言い分である。反対する研 究者からは、この統計が、過疎対策政策のベースになっていることや、災害時の 孤立集落の割り出し、平安時代の『和妙類聚抄』に残る地名から千年以上前の村 の動向を知る手がかりになることなどが指摘されている。統計は今日明日に役立 つものではなく、長い年月の体系的な蓄積によってこそ意義をもつものである。 「過去に目を閉ざす者は、現在にも盲目となる」とのワイツゼッカーの有名な言 葉があるが、統計は正に歴史であり、閉ざしてはならないのである。 (飯澤)

地方史情報 159 2023年(令和5年)1月1日 発行

編集・制作 :白 鳥 舎 hakucho@eris.ais.ne.jp

ウェブサイト公開:岩田書院 http://www.iwata-shoin.co.jp

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 TELO3-3326-3757

*本誌は, 140号より, PDF版のみの発行です。